

建設技術展2026関東 20、21日開催

併催 国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」



開催に寄せて

生産性向上と働きやすい環境づくりへ

国土交通省 関東地方整備局長 西澤 賢太郎

このたび、「建設技術展2026関東」が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。また、日頃より国土交通行政に対し、格別ご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

関東地方整備局は、首都圏を含む1都8県のインフラ整備および管理を担っており、防災・減災や国土強靱化の推進を通じて、持続可能な経済成長の基盤を支えています。社会資本の整備と適切な維持管理はその根幹をなす不可欠な取り組みです。当整備局では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性をいかした地域づくりと持続可能な活力ある国づくり」の三本柱のもと、既存インフラの計画的な維持管理・更新・活用によるストック効果の最大化を図るとともに波及効果の高いプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開しています。

しかしながら、建設業界には依然として多くの課題が存在します。今後、公共事業を円滑に進めるためには、生産性向上や働き方改革、担い手不足の解消などに取り組み、現場の課題を着実に解決していくことが求められます。

こうした課題に対応するため、関東地方整備局では「i-Construction 2.0」をはじめ、インフラDXの推進、AIやドローン等のデジタル技術の活用、建設現場のオートメーション化に資する新技術の導入を進めております。建設産業の生産性向上と働き方改革の実現に向け、先進技術の社会実装を推進しているところです。

今後、これらの取り組みを建設産業全体に浸透させ、生産性向上や働き方改革などの課題解決を実現するためには、産学官が一体となった連携が不可欠です。今回の技術展においては、企業・団体による最新技術や工法、製品・サービスの展示をはじめ、学生向けキャリアイベントや子ども向け体験企画「重機でGO」、「CRP-LEAN GP」、「i-ブランド」など、建設産業の魅力を幅広い世代へ発信する企画も用意されています。これらは、建設業界の課題解決に大きく寄与するとともに、建設産業の魅力向上や次世代人材の確保・育成に大きく貢献するものであり、関係の皆様のご尽力に深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

本技術展が、建設技術と他産業の知見が融合する契機となり、より生産性が高く、働きやすい環境づくりが進むとともに、建設がより魅力的な産業へと発展していくことを期待しております。

見て、触れて、つかむ生存戦略DX
生産性向上のヒントが見つかる！

日刊建設工業新聞社主催の「建設技術展2026関東（CROSS2026）」が20、21日の2日間、「ともに創る建設の未来」をテーマに東京・東池袋のサンシャインシティ展示ホールB・C・D（文化会館ビル4、3、2階）で開催。

国土交通省関東地方整備局の協力を得て開催する建設技術の見本市で、今年で7回目を迎える。展示会場を昨年までの2フロアから3フロアに増やし、前回は大きく上回る約250社・団体が出展（約300ブース）。ステージも増設し、官民関係者による講演のほか、学生向けワークショップやトークセッションなど建設分野の魅力を伝えるイベントも数多く企画している。

20日には会場内で関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」が同時に開かれ、国土強靱化の取り組みや、産学官が連携して進めている技術開発などを発表する。

開催時間は午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。入場無料。建設技術展2026関東は、土木学会CPD（継続能力開発、20日4・5単位、21日3・5単位）、全国土木施工管理技士会連合会CPDS（継続能力開発システム、各日2ユニット）のプログラム認定を受けている。さらに建設技術フォーラムの聴講で追加単位を取得できる。

過去最大の250社・団体が出展

ステージプログラム

- 〈10月20日（火）〉
- 【ステージA】（展示ホールC、3階）
- 10：30～
- ▷基調講演「国土交通省のインフラDXの取り組み～AIによる加速化～」＝廣瀬昌由氏（国土交通省技監）
- 11：40～
- ▷講演「開催まであと5ヶ月！GREEN×EXPO 2027の最新情報」＝脇坂隆一氏（2027年国際園芸博覧会協会（GREEN×EXPO協会）推進戦略室長）
- 13：30～
- ▷国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」
- ・開催あいさつ＝西澤賢太郎氏（関東地方整備局長）
 - ・基調講演「関東地方整備局におけるインフラDX推進の取組」＝清水将之氏（関東地方整備局企画部長）
 - ・講演「道路GISプラットフォームによる構造物管理の効率化・高度化」＝小川渉氏（関東地方整備局関東道路メンテナンスセンター長）
- ・講演「AIを活用した砂防施設点検の効率化」＝矢野敦久氏（関東地方整備局河川部河川計画課長補佐）
- ・講演「災害対応の迅速化・効率化」＝本住武司氏（関東地方整備局統括防災グループ防災室長）
- ・講演「国営公園におけるインフラDXの取組と横浜グリーンエクスポについて」＝秋山義典氏（関東地方整備局建政部公園調整官）
- ・講演「横浜港新本牧ふ頭における港湾DXの取組」＝國松靖氏（関東地方整備局京浜港湾事務所長）
- ・研究発表「高がスラグおよびサイディング切削粉を活用したジオポリマー系固化材による山間部砂防技術の開発」＝稲積真哉氏（芝浦工業大学教授）
- ・研究発表「水上ドローンによる地下トンネルの無人化点検診断システムの技術開発」＝佐藤靖彦氏（早稲田大学教授）
- ・研究発表「地下トンネル変形・変状計測システムの開発」＝全邦釘氏（東京大学大学院特任教授）

- ▷【ステージB】（展示ホールB、4階）
- 10：30～
- ▷パネルディスカッション「異業種交流 建設産業×空港グランドハンドリング～現場経験のある女性の声～」＝建設産業女性定着支援ネットワーク
- 11：40～
- ▷パネルディスカッション「異業種から学ぶ 建設現場のトイレ課題の解決策」＝日本仮設トイレ工業会
- 13：00～
- ▷学生参加プログラム「建設業界を目指す学生のための就職セミナー」＝コンキヤリ
- 14：30～
- ▷パネルディスカッション「中堅・若手が考える社会的役割、これからの土木」＝土木学会若手パワーアップグループ
- 【プレゼンテーションステージ】（展示ホールD、2階）
- 11：00～
- ▷出展者プレゼンテーション＝新潟県（Made in 新潟）
- 11：45～
- ▷出展者プレゼンテーション＝ヒロセホールディングス
- 13：00～
- ▷出展者プレゼンテーション＝建設技術研究所
- 13：45～
- ▷出展者プレゼンテーション＝リフリーストリー
- 14：30～
- ▷出展者プレゼンテーション＝ワイビーエム
- 15：15～
- ▷出展者プレゼンテーション＝エイト日本技術開発
- 16：00～
- ▷出展者プレゼンテーション＝野原グループ
- 〈10月21日（水）〉
- 【ステージA】（展示ホールC、3階）
- 10：30～
- ▷講演「『2050東京戦略』の実現に向けた建設局の取り組み」＝久野健一郎氏（東京都建設局長）
- 11：30～
- ▷講演「改正建設業法等全面施行後の『労務費に関する基準』の運用と今後の展望」＝池田圭吾氏（国土交通省不動産・建設経済局建設振興課長補佐）
- 13：00～
- ▷講演「首都高をめぐる最近の話題について」＝高野正克氏（首都高速道路執行役員）
- 13：50～
- ▷講演「『いのち輝くマグネット神奈川』の実現」＝池田一紀氏（神奈川県県土整備局長）
- 14：40～
- ▷講演「防衛施設強靱化の最前線」＝三沢大輔氏（防衛省施設整備課長）
- 【ステージB】（展示ホールB、4階）
- 10：30～
- ▷「インフラをテーマにした教育アニメ映画『未来補完計画プロジェクト』＝クリエイティブ・ラボ
- 11：30～
- ▷パネルディスカッション「2030年の建設業をつくる人材戦略」＝建設ディレクター協会

主催者あいさつ

建設生産を変える技術がここに

日刊建設工業新聞社 代表取締役社長 高橋 治光



第7回「CROSS 建設技術展2026関東」の開催に当たり、主催者として厚く御礼申し上げます。

これも出展者、国土交通省関東地方整備局をはじめとする共催・後援の皆さまのご支援のたまものと深く感謝いたしております。

本年も関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」の同時開催であり、建設産業の技術力を広くアピールし、わが国の持続可能な発展に欠かせない建設の未来を形づくる上で、貴重な機会となるよう企画いたしました。

会場には250を超える企業・団体のさまざまな建設技術や関連製品などが展示されます。

また、初日に国土交通省技監の廣瀬昌由氏、2027年国際園芸博覧会協会（GREEN×EXPO協会）推進戦略室長の脇坂隆一様、2日目に東京都建設局長の久野健一郎様、国土交通省不動産・建設経済局建設振興課長補佐の池田圭吾様、首都高速道路執行役員の高野正克様、神奈川県県土整備局長の池田一紀様、防衛省施設整備課長の三沢大輔様に、講演いただきました。

出展者・共催団体らによるプレゼンテーションやパネルディスカッションのほか、土木のイラスト展や写真展など建設業の魅力を伝えるイベントを数多く用意しています。コンキヤリによる「建設業界を目指す学生のための就職セミナー」、マイナビとタイアップした「社会を支える仕事の魅力とは？ 建設業界の『今』がわかる学生向けイベント」も開催します。関東圏の工業高校、高等専門学校から多くの学生・来場者、会場内の見学ツアーに参加します。

これまで整備されてきた社会資本の維持・更新をはじめ、自然災害への対応、地球温暖化対策としてのカーボンニュートラルの実現など、建設技術に求められる役割はますます多様化・高度化しています。こうした社会課題に的確に対応し、持続可能な社会の実現に貢献するため、建設業には技術力の向上に加え、生産性向上や働き方改革、将来を担う人材の確保・育成など、さまざまな課題への取り組みが求められています。

建設業界のさらなる発展と事業成長を後押しする、最新の技術・製品・情報が一堂に集結する本技術展を通じて、新たな可能性を見つけていただければ幸いです。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

13：00～

▷学生参加プログラム「社会を支える仕事の魅力とは？ 建設業界の『今』がわかる学生向けイベント」＝マイナビ学生の窓口

【プレゼンテーションステージ】（展示ホールD、2階）

10：30～

▷出展者プレゼンテーション＝新光重機

11：15～

▷出展者プレゼンテーション＝ブリッジワン

12：00～

▷出展者プレゼンテーション＝パシフィックコンサルタンツ

13：00～

▷出展者プレゼンテーション＝オリエンタルコンサルタンツホールディングス

13：45～

▷出展者プレゼンテーション＝J R東日本コンサルタンツ

14：30～

▷出展者プレゼンテーション＝日本工営

15：15～

▷出展者プレゼンテーション＝レフィクシア

ブリッジワン

B-01

ピーバース

ピーバースは、建設業界に特化した人材紹介・採用支援サービスです。現場監督や建設業界出身のヘッドハンターが多数在籍し、独自の横のつながりと人海戦術による徹底したリサーチで、企業ごとの課題や現場に合う即戦力人材を発掘。ミスマッチを抑え、定着率の高い優秀な施工管理人材をご紹介します。

さらに、施工管理や設計として無期雇用可能な高度外国人材を毎月50名以上紹介からアフターフォローまでサポートしています。新卒採用・採用コンサルティングでは、年間1万名を超える集客ノウハウを活かし、採用コストの見直しから学校訪問代行、採用業務のアウトソーシング（RPO）まで一気通貫で支援。採用の仕組みづくりと内製化まで伴走します。

三国屋建設

B-04

要望に応えるDPS起重機船・多目的に使用可能なSD台船

関東・東北の各地に事業所を置き、100隻を超える社有船舶と30余名の社内潜水士をはじめとする機動力と技術力をもとに、全ての社員が『海の職人』となることを目指しております。

全国津々浦々の水上、水中において『海を造る』匠の会社として、また、不慮の災害時には『海を守る』力強い防災会社として、地域に、さらには、社会に貢献できるよう努めています。また、こんな技術があったらいい！あともう少し！といった要望をかなえるべく建造した、DPS起重機船「いばらき700」をはじめ多目的に使用できる組立式台船（SD台船）や特殊エクターを使用した防災システムなどを開発し、社会に貢献できる会社を目指しています。

クボタ建設

B-07

DXR／DXRⅡ工法

DXR工法は「DXRシールド（呼び径φ1000～φ2000）」をさや管とし、「P Nダクタイル鉄管（呼び径φ700～φ1500）」を3口径差の組み合わせにより、複数の急曲線（R＝15）を含む線形で1スパン1,000m以上の耐震管路を環境に優しく、経済的な設計・施工を可能にした「水道用鞘管シールド工法」です。加えて、DXRⅡ工法は水道本管呼び径φ400～φ600の施工を実現した技術（本管接続、水密性確認、急曲線（R＝10））も展示します。

その他の技術／ミニシールド工法／DXR工法・DXRⅡ工法／ガンピー工法／バルブメンテナンス

三重塗料／クリスタルジュエリー工法協会

B-10

錆進行抑制蛍光クリア樹脂防食塗装工法クリスタルジュエリー工法

「クリスタルジュエリー工法」は、透明性を持つ特殊クリアシリコーン樹脂塗料を採用する事により、橋梁などの鋼・ゴム・コンクリート構造物躯体の目視確認と長寿命化による向上を実現。素地調整工は3種ケレン程度の処理で金属溶射やRc-1塗装系に並ぶ防錆力を発揮して、耐薬品性に優れ、飛来塩分や塩カルの蓄積に耐える事が出来る塗膜を形成するため害性に優れる。ケレン後の鋼材面に直接塗布をして鋼材の目視確認が出来る標準仕様その他Rc-1塗装系や錆転換型防食塗装の鋼材面に塗布する事で橋梁の美観を保つ事も可能。更にクリア塗装の課題点である塗り残しをブラックライトで発光させて確認が可能。

鹿島道路

B-02

全天候型補修材（カジマクールミックスアーク）

全天候型緊急補修材「カジマクールミックスアーク」は、水をかけ、転圧して使用する常温の補修材です。水で固まるため雨天時にも穴埋め等の補修ができ、強度発現が早く転圧後の即時交通開放が可能であるため、規制時間の短縮が期待できます説明員が説明しますので、ぜひお立ち寄りください。学生さんも大歓迎です！

ビズリーチ

B-05

スカウト型の中途採用サービス

ビズリーチは、企業が求める人材を直接探しアプローチできる、スカウト型の中途採用サービスを展開しています。求人媒体や人材紹介とは異なり、企業の知名度に関係なく求める人材と出会うことが可能です。

NIPPO

B-08

低炭素・減災・長寿命を叶える舗装技術

本ブースでは、以下の舗装技術をご紹介します。

カーボンニュートラル実現に向け、製造温度を下げてCO₂を削減する「ECOフォームド」。

廃棄PETボトルをアスファルト改質剤として再利用し、耐久性と環境配慮を両立した「リペットペーパー」。

地震直後の路面の亀裂や段差を抑制し、緊急車両の通行を確保することで人命救助や物資輸送に貢献する「HRB工法」。

優れた疲労抵抗性でフレックシオンクラックを抑制し、舗装の長寿命化を図る「エラスペーパー」「薄層エマック」。

いずれも社会に貢献する舗装技術です。ぜひ当社ブースへお立ち寄りください！

JFE建材

B-11

挑み続けるケンザイで、安心と笑顔のあふれる未来を

JFE建材は、建築土木建材のパイオニアとして、幅広く社会基盤を守り支えてきました。半世紀をゆうに超える歴史で培った信頼と確かな技術力を土台に、私たちはいま新たな挑戦に踏み出しています。

地球環境への配慮と激化する自然災害への対応、急速に変貌を遂げる社会や暮らしに合ったインフラの構築、少子化による人手不足…。変化に目を凝らし、社会の未来を想像しながら、柔らかな発想で鉄と建材を見つめる。そこからまた見ぬ可能性を導き出し、社会が求める価値へと転換していく。私たちはお客様とともに、安心と笑顔あふれる未来を、愛をもって育んでいきます。

目の前に立ちださるべき使命でもあります。変化に目を凝らし、社会の未来を想像しながら、柔らかな発想で鉄と建材を見つめる。そこからまた見ぬ可能性を導き出し、社会が求める価値へと転換していく。私たちはお客様とともに、安心と笑顔あふれる未来を、愛をもって育んでいきます。

日新インダストリー

B-03

溶融亜鉛めっき補修の最適解をご提案

補修跡の見え目、有機則・特化則の管理負担、めっき処理、白さびの発生…溶融亜鉛めっきの補修に関するお悩みは現場によってさまざまです。

当社は、そうした一つひとつの課題に合わせた最適解をご提案する溶融亜鉛めっき補修塗料メーカーです。ジンクリッチペイントや変性エポキシ樹脂塗料などの防錆塗料・補修剤に加え、有機則・特化則フリーの環境対応型塗料、めっき前に塗布し部分のめっきを可能にするめっき剤、めっき表面の初期白さびを除去する白さび除去剤まで幅広くラインナップ。中にはNET I S評価区分「VE」(活用効果評価済み技術)取得製品もございます。ぜひ会場で、皆様の現場に合った最適解をお聞かせください！

ディ・ケイ・コム

B-06

ソイル柱列連続壁・地中障害撤去・杭打ち⇒すべて自社班対応◎！

■対応工種：①ソイル柱列連続壁②地中障害撤去③RG工法（杭打ち工事）④ホースプロテクタ製造・販売…その他、地中工事

■当社の強み：①すべて自社で対応できます②設立39年・全国各地での豊富な施工実績③地中工事全体を考えた工法提案

■新しいことへの挑戦：①当社が開発した新しい泥土低減工法②大口径による地中障害撤去の効率化③海外展開への挑戦。

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

B-09

あなたの技術が鉄道を変える!?

全国をフィールドとする公共機関である「鉄道・運輸機構（JRTT）」は、整備新幹線や都市鉄道の建設のほか、地方鉄道の災害復旧工事などを担う鉄道インフラの発注者です。本展示ではVRにより普段は立ち入ることのできない鉄道建設の現場を体感できます。また、事業紹介に加え、異業種の技術やアイデアと連携する取組をご紹介します。DX、AI、測量・測定、土木・建築・機械・電気、建設現場の労働環境改善、安全対策、環境負荷低減などの技術やアイデア、現場課題の解決に向けた幅広い技術分野からのご提案をお待ちしています。あなたの技術が、鉄道の未来を変えるかもしれません。

中大／DOVOX

B-12

マルチフラップゲート（無動力減災ゲート）

従来のゲートはそのままに、新しく川裏側に簡単に低コストで設置できるフラップゲートです。

●ゲートが分割されていて軽量となっているので、クレーンなどを使用せず、人力のみで施工可能

●ゲートがフラップなので、ゲートの開閉作業が不要

●大雨時の最大水位で水位計のフロートが停止するので、安全に水位を計測可能。

ともに創る建設の未来。

C-XROSS 2026
Construction Xross 2026

日野コンピューターシステム B-13 トラックブローブデータ「Logita」で交通を可視化する Logitaは、全国約50万台(※)の実走行データを蓄積した、日本最大級の物流ビッグデータです。日野グループだからこそ実現できる、高精度な走行データを2017年から蓄積し、日本の物流インフラを実測で捉え続けています。車種別分析や同一車両のBefore-After比較まで可能。道路評価や水素ステーション立地、防災、カーボンニュートラル施策など、街づくりとその検証に活用されています。展示では、実際の活用事例とともにご紹介いたします。 ※対象車両数：2026年7月現在	中央開発 B-14 地質調査業のDXを目指す「弊社の地質DX」の取り組み 地質調査業こそDXが必要です。地質DXにより、陸域・水域の調査を刷新し、新たな手法で地形図を作成して解釈の高度化を実現します。地盤調査・地盤解析・新技術DXを強みにし、地質調査業の生産性向上を図っていきます。われわれは地質調査業のDXに力点を置きつつ、さらには設計・施工・維持管理へのデータの橋渡しを行っています。 昨今の水災害・土砂災害の激甚化に備えて、各種モニタリングシステムを設置し、防災に働かれています。土中の傾斜・微動・振動・比抵抗の計測により、地盤構造や自然斜面をモニタリングする技術は、弊社独自開発した技術です。 今後も土と水に関する技術を武器に日本の防災の発展に貢献していきます。	日建商事 B-14 地盤改良を支えるワンストップサービス 土と水の専門商社の日建商事は、地盤改良工事機械レンタルのパイオニアとして、様々な現場のご要望にお応えする商品のレンタル・リース・販売を行っています。ボーリングマシン、超高圧ポンプ、全自動ミキシングプラント、電磁流量計・ICT施工管理機器、またウエルポイント・ディープウエルの商品販売と工事、地熱事業などを取り扱っています。「掘る」「送る・注入する」「混ぜる」「測る」の各工程に応じた製品と技術をご紹介します。現場の課題解決を支援します。今回は、新技術を搭載した地盤改良機SⅠ-40SⅣSオートストローク仕様、地熱用ボーリングマシン、次世代型ボーリングマシンやICT関連機器などをご紹介いたします。
パスコ B-15 地球をはかり、未来を創る ～人と自然の共生にむけて～ パスコは、「遠隔の視点(Remote Sensing)」と、「近接の視点(Onsite Sensing)」から地球上のあらゆる事象を捉え、さらに、AI(人工知能)やIoT、GIS(地理情報システム)、画像処理などを活用した「分析・解析技術」を加えた3つの要素を融合することで、事業を展開しています。 現実の世界をコンピューター上に再現する技術と、解析・評価・分析する技術によって、過去から現在、そして未来を予測して、国土や環境の管理・保全、インフラの維持管理、災害その他のリスク管理や対策など、社会課題の解決に向けた空間情報サービスを提供しています。	加藤建設 B-16 圧入ケーソン工法 加藤建設は圧入ケーソンのパイオニアとして、都市域の厳しい施工環境(狭陰地、短工期、周辺環境)に対応した分割組立型土留壁を利用した「アーバンリング工法」や狭陰地における基礎施工に対応し急速施工を可能とした「PCウェル工法」、現場で構築された躯体を圧入沈設する「グリップ圧入工法」等、豊富な圧入技術を多く保有しており、地下空間No.1を目指しています。	サンコーコンサルタント B-17 社会基盤を支える総合技術とサンコーDX サンコーコンサルタントは、1961年の創業以来、トンネル設計と地質調査を原点に、社会基盤整備に関する幅広い分野へ技術を展開し、調査・計画・設計から維持管理まで、地域や現場の課題解決を支えてきました。本展示では、長年培った知見と専門技術を基盤に、AIやデジタル技術を活用した「サンコーDX」を紹介します。その一例が、無人撮影カメラ画像をAIで判別し、クマの可能性が高い場合にリアルタイムで通知する「クマアラート」です。従来技術と新技術を融合し、現場の安全性向上、業務効率化、技術継承など、多様化する社会課題に応える当社の総合力と、地域や現場に寄り添う未来志向の技術をご紹介します。
先端建設技術センター B-18 先端建設技術は、よりよい社会資本・環境づくりの大きな力です。 一般財団法人先端建設技術センターでは、先端的な建設技術の調査研究、開発及び普及を図ることによって、国土基盤整備を推進し、安全・安心で豊かな暮らしを実現することを目的とした事業を行っています。 本フェアでは、建設に関わるさまざまな主体が連携し、技術開発・共同利用・現場実装を促進する「建設技術共創・実装フォーラム」設立について紹介するとともに、「AIを活用したトンネル切羽評価」および「NETIS新技術情報提供システム登録申請支援事業」について紹介しております。	日本建設情報総合センター B-19 DX時代の建設マネジメント 日本建設情報総合センター(JACIC)では、コリンズ・テクリス、入札情報サービス(PPI)、電子入札コアシステム、積算システム、コプリス・プラスといった、公共調達に対応したシステムやデータを提供しています。 また、現場の作業を効率化する情報システムの提供、DX推進のための調査研究等も行っています。 本技術展では、登録されたメンバー間でデータ、画像・映像などの情報を共有できるサービス「JACICルーム」、建設副産物情報および建設発生土情報を異なる利用者間で共有するための情報サービス「コプリス・プラス」を中心に紹介します。	ジオスター B-20 環境配慮型コンクリート G-Save White 道路やトンネル、鉄道、ダム、橋梁など、社会インフラを支えるコンクリート製品「GEOWARE」。建設現場でコンクリートを打設する従来の工法ではなく、工場で製造した部材を現場で組み立てるプレキャスト工法をいち早く導入し、施工の省力化・省人化、品質向上、工期短縮を実現してきました。老朽化するインフラ、迫り来る自然災害。国土強靱化が叫ばれる一方、土木建設業界の人手は逼迫している。そんな、業界ひいては日本の課題に、プレキャストという一手を。 【型を超えて、未来を型どる】というスローガンを胸に、型にハマらない柔軟な発想で、私たちは、インフラの新しい作り方をつくり続けます。
nat B-21 現調効率化！3Dスキャンアプリ「Scanat」 3Dスキャンアプリ「Scanat」は、iPhoneやiPadのLiDARを活用し、現場を歩くだけで高精度な3Dデータを取得できるソリューションです。現況測量や出来形管理、施工前後の記録、改修・維持管理など幅広い業務で活用されており、現場調査の効率化と省人化を実現します。取得したデータは点群や3Dモデルとして活用でき、図面作成や情報共有にも役立ちます。建設現場のDXを支援する最新機能を、ぜひブースでご体感ください。	前田建設工業 B-22 建設DXによる安全・生産性向上 山岳トンネル掘削自動化技術は、掘削サイクル(削孔・装薬・ブリー搬出・支保工建込み・吹付け・ロックボルト)等の一連作業を自動化し、安全性向上、省人化による労務生産性向上、施工品質の均一化を実現します。また、AIを活用したダンプ運行管理システム「AI SAVE」は危険事象を検知し、事故防止や安全教育を支援しています。さらに、ドローンとBIM/CIMを組み合わせ、災害現場の迅速な調査・および復旧設計に貢献しています。高精度な3次元データによる現況把握や対策立案、復旧道路設計の効率化を図るとともに、トンネルや法面など危険箇所への立入りを低減し、安全性向上と現場作業の省力化を実現しています。	アルソシア建設 B-22 樹木リスク評価システム「tree AI」、橋面平坦性計測システム「DX-Bridge」 樹木管理・橋梁・インフラ点検分野における安全性向上と生産性向上を目的に、AI・デジタル計測・DX技術の開発を推進しています。樹木管理では、AIの画像解析技術を活用した「tree AI」により、専門家の目視評価をスクリーニングし、デジタル管理台帳への蓄積・可視化で計画的な樹木管理の省力化を支援します。橋梁点検では、橋面平坦性計測システムにより1人での簡易計測と帳票自動出力を実現し、作業を約85%省力化します。さらに「DX-Bridge」により、BIM/CI Mや自動化技術を活用して、事前検討から調書作成に至る橋梁上部工工事の一連の業務を包括的に行います。
レックス B-23 塗膜厚自動帳票システムなど、最新計測システムをレンタルで提案 共同開発による塗膜厚自動帳票システム「COAT VISION(コートビジョン)」「NETIS:KK-260006-A)をはじめ、GNSS接近警報クレーンカメラ「HAWK EYE(ホークアイ)」「NETIS申請中)、建設現場ダッシュボード「サイトダイバー」(NETIS申請中)など、レンタルで導入できる最新の計測システムをご紹介します。豊富な計測器・計測システムのご提案に加え、お客様の課題に合わせたシステム開発やカスタマイズにも対応。レンタルを活用することで、工事期間に合わせた導入や、新技術の試験導入、短期間での利用など、柔軟な運用を実現します。	太平洋基礎工業 B-24 TRD工法・SATコラム工法・BG工法・スーパートップ工法 社会インフラを支える技術が、池袋に集結します。 10月20・21日、サンシャインシティ展示ホールにて「第7回Construction Xross2026関東」が開催されます。国土交通省関東地方整備局との連携のもと、建設産業の現在と未来を発信するこの舞台に、弊社も出展いたします。 今回ご紹介するのは、地盤改良・山留め分野で実績を積み重ねてきたTRD工法・SATコラム工法・BG工法・スーパートップ工法の4工法。各工法の技術的優位性を、直接ご説明します。 「工法選定で迷っている」「コスト・工期の最適解を探している」。そうした現場の課題に、真摯にお答えします。ぜひ足を運ぶください。	ソフトバンク B-25 高精度測位サービス「ichimill」(イチミル) 全国3300カ所以上に高密度に設置されているソフトバンクの独自基準点が受信した信号を基に、「測位コアシステム」で補正情報を生成し、インターネット等を通して、建機等に搭載されたGNSS受信機へ補正情報を配信します。この補正情報と、GNSS受信機が受信した信号を活用してRTK測位を行うことで、誤差数センチメートルの高精度な測位がリアルタイムで可能になります。また、ソフトバンクの独自基準点を利用するため、お客さま自身で基準点を設置する必要がなく、全国の広範なエリアで手軽にサービスのご利用が可能です。なお、国土数値情報の電子基準点を用いたVRSプランも提供しており、公共測量等にもご活用いただけます。
低騒音工法協会 B-26 伸縮継手撤去工法(SJS2.0-H工法) SJS2.0-H(サイレンス・ジョイント・スライズ)工法は、特殊ワイヤーソーにより乾式水平切断を可能とした橋梁伸縮装置撤去工法。専用のカッターブレードで作成したスリット部にワイヤーを落し込み、伸縮装置を切断する工法で、既設床版コンクリートに損傷を与えずに、伸縮装置のみを綺麗に取り除く事が出来ます。 切断に伴い発生する汚泥及び粉塵を最低限に抑え、低振動・低騒音(騒音は最大70db台)で、昼夜間時間帯を問わず施工を可能にした環境に優しい画期的な新技術である。 施工時間は簡易鋼製伸縮装置で8時間以内、鋼製フィンガージョイントで10時間程度と短時間施工が可能です。	アールアンドアール B-27 電荷中和型避雷針・マンホール蓋開閉機器(2機種) 【電荷中和型避雷針 dinnteco-100plus】落雷現象を発生させない事により、人命、建築物等、電気・電子機器への被害を高い確率で軽減するNETIS登録商品 【マンホール蓋開閉機器(2機種)】労働災害防止(腰痛、指損傷ほか)・省力化・省人化を実現	日本国土開発 B-28 回転式破砕混合工法とハイブリッドエポキシ樹脂 回転式破砕混合工法は、従来は対応困難な高含水比粘性土や軟岩等の建設発生土も均一に攪拌混合が可能な土砂改良技術です。近年では、現地発生土を利用した築堤土や盛土材の製造に多く採用され、延べ1400万㎡の改良実績を有し、これまでの取組みが評価され「令和3年度3R推進功労者等表彰」において国土交通大臣賞を受賞しました。ハイブリッドエポキシ樹脂(NETIS登録番号：HK-170005-VR)は、鉄筋コンクリート構造物の様々な補修工法に塩害対策として適用できる補修材料です。エポキシ樹脂に塩分吸着材を添加したもので、鉄筋腐食の原因となる塩化物イオンの吸着効果と鉄筋腐食抑制効果を併せ持ちます。
NTジオテックス B-29 地上型3Dレーザースキャナ/LiDAR SLAM/SfM製品 近年、建設業界においても人手不足に伴い、DX化・自動化・システム化等の業務効率化のニーズがますます高まって来ております。今回の展示会では「点群計測とその活用」にテーマを絞り、昨今特に需要が高まっておりますLiDAR SLAM、SfM、地上型3Dレーザースキャナに関するソリューションをご紹介します予定です。弊社は株式会社ニコン・トリニフルの専門販社として、3D計測、BIM/CI M、インフラメンテナンス等の業務に対応すべく、時代のニーズに合ったソリューションのご提案からアフターフォローまでをメーカーに代わって一貫して行うことにより、お客様にご満足いただける企業を目指してまいります。	戸田建設 B-30 社会課題を解決し建設の未来を築く最新技術を多数展示します！ 当社は社会課題を解決する最新技術を出展します。 ・エネルギー・GX：日本初の浮体式洋上風力による商用運転を開始した『島鳥洋上ウインドファーム』、木材利用と脱炭素化を促す鋼管柱のハイブリッド木質耐火部材『foresTie-SJ』 ・土木・インフラ：高速道路リニューアル対応の『すいすいC&T工法(半断面施工)』『TIG-Wall(プレキャスト壁高欄)』、国内初！従来の締固めが必要な覆工コンクリートの自動打設を実現『セントルフューチャーズ』、道路陥没を防ぐ『地中空洞の厚さ調査手法』、国土強靱化を支える『粘り強い河川堤防』 ・作業環境：酷暑下の熱中対策となるペルチェ素子と空調ファンを複合した『ハイブリッド冷却作業着』	データグリッド B-31 図面解析AI(拾い出しAI・検図AI・積算AI) 弊社データグリッドの図面解析AIは、建築業界全般の設計図・施工図・製作図などのPDF図面を解析し、検図と拾い出しを中心に、積算業務まで支援するAIソリューションです。文字、表、記号、寸法、注記、図形、引出線などを構造的に理解し、部材・数量・仕様の抽出、複数図面間の不整合確認、確認候補の提示を行います。従来は担当者が目視で行っていた確認作業や数量拾いに対し、AIが差異や見落としの可能性を整理することで、確認漏れ・拾い漏れの防止、属人化の解消、業務効率化に貢献します。積算に必要な数量情報や根拠整理にも活用でき、POCから実業務への適用まで柔軟に検証できます。業務フローに合わせた段階導入も可能です。
丸栄コンクリート工業 B-32 省人化・省力化につながるPCA製品・工法の紹介 橋梁の老朽化による高速道路のリニューアル工事の一般的なクレーン架設に代わる、より工期短縮や交通規制の縮小あるいは各種制約に対応可能な工法、大型多分割プレキャスト製品、脱炭素の取り組みについての紹介。	いであ B-33 流量・河川・環境が見える！ 最新技術発信 本展示では、最新の技術を用いた「流量観測」「3Dゲームエンジン関係」「川デジ関係」「河川環境と河川整備」をテーマに、河川に関連する革新的なアプローチを紹介します。 流量観測技術では、カメラ画像を活用してリアルタイムで河川流量を安全・正確に計測する技術をご紹介します。次に、3次元ゲームエンジン上でインフラ整備を可視化する技術を通じて、より直感的な理解を促進します。また、川デジ技術を活用した美しい川づくりについては、3Dデータを駆使して効率的に河川を整備する方法を展望します。最後に、河川環境と整備の両立を目指した解析技術を紹介し、持続可能な川づくりを目指す技術を紹介します。	日本ペイント B-34 重防食用塗装システム「ダンジョーラシステム」 塩害や海浜環境などの厳しい腐食環境下において優れた耐久性を発揮し、鋼構造物の長寿命化とライフサイクルコストの低減に貢献する重防食塗装システムです。その技術力が高く評価され、第9回インフラメンテナンス大賞(技術開発部門)において国土交通大臣賞を受賞しました。 また、令和8年度推奨技術にも選定されています。ブースでは、製品の特長や適用事例をご紹介します。
早川ゴム B-35 環境、IoT、防災・減災 各分野のNETIS登録製品等を出展 1. 「スパンシール誘発目地材」：令和8年8月、NETIS-VE評価の活用促進技術に選定されました。優れた止水性と高い施工性で、構造物の長寿命化と工期短縮を両立します。 2. 「リフレキュア」：従来の養生マット以上の省人化を実現し、高い湿潤効果・遮熱効果を発揮する、安全面と環境面に配慮した次世代養生マットです。普通コンクリートだけでなく、ひび割れリスクが高い低炭素型コンクリート(高炉セメントコンクリート)においても評価試験を実施済みです。 3. 「サンタック草ゼオプレート・草ゼロシラント」：亜鉛イオンの働きにより植物の生長を抑制します。施工箇所に合わせてプレート型とシート型を揃えています。	エムティプレジション B-36 レーザー距離センサー／高精度2次元レーザースキャナーの紹介 レーザー距離センサーを使った、高精度の距離／トンネル内空変位の測定事例を紹介し、マニュアルで測定している用途への動き方改革の提案を行います。トンネル内空変位の測定では多くの実績がございます。実際の活用例をいくつかご紹介いたします。あわせて、レーザー距離センサーに回転制御を加えた高精度2次元レーザースキャナーのデモを行います。3D計測とは違った精度の高さ、データの取り扱いやすさをご覧ください。国内最大の海底鉄道用トンネル断面計測の実例、橋脚での応用例などをご紹介します。高精度2次元レーザースキャナーの新しい可能性の体験をご用意いたします。	ジオテツ工法研究会 協同組合Masters B-37 鋼矢板を安心して引き抜ける「ジオテツ工法」 土留め部材を引き抜く際に生じる地中の空隙へ、専用の恒久グラウト材を引抜きと同時に充填する工法です。周辺地盤の沈下を抑制し、鋼矢板やH鋼などの安心・安全な撤去とリユースを可能にします。土留め材の残置を避けることで、将来工事の地中障害物を減らし、資源循環・CO2排出削減にも貢献します。

(1 1) 2026年(令和8年)10月16日(金曜日)			日 刊 建 設 工 業 新 聞			(第3種郵便物認可)		
C-XROSS 2026 Construction Xross 2026								
エムオーテック			エアロトヨタ			PANWALL工法協会		
S L A M技術を活用した山留壁の「面」変位計測技術			点群データが支える維持管理と防災			省人化・省力化を実現した地山補強土工 パンウォール工法		
特許取得済みの点群変位計測技術。一度に広範囲の3次元点群データを取得し、時系列で取得した点群データを比較することで、山留壁の変位を面的に可視化します。山留壁全体の変形状況に加え、周辺地盤や背面構造物の挙動も把握することが可能です。計測結果をカースケールで表示することで、全体的な変形傾向や局所的な異常を直感的に確認できます。従来の点計測では把握が難しかった計測箇所以外の変位や変形の兆候を早期に検知し、現場状況の的確な把握と迅速な意思決定を支援します。このほかにも、重仮設のバイオニアとして培った技術・製品・ソリューションをご紹介します。			道路、河川・砂防、インフラ点検の各分野で活用される計測技術と、その活用事例を紹介します。3次元計測によって取得した点群データを活用し、施設の維持管理や防災対策にどのように役立てられているかを、実際の事例を交えながら分かりやすくご説明します。また、計測からデータ活用までの流れをより身近に体験していただくため、VRコンテンツも展示予定です。トンネル内部を再現したVR空間を通じて、現場状況の把握や施設管理の高度化、省力化に向けたデジタル技術の活用イメージをご体感いただけます。			「PANWALL工法」は、表面工にプレキャストコンクリート板を用いた急勾配化（垂直～5分）が可能な地山補強土工法です。小型機械での施工や「逆巻」「順巻」施工の応用により現道の交通を確保しながら谷側拡幅工事や災害復旧工事に活用できます。在来工法では困難であった高速道路の拡幅、河川護岸の新設・改良、既設擁壁の補強、土留め等においても効果を発揮します。全国で1450件以上、面積41万㎡以上の実績を有し、「土木学会技術評価」技術推進ライブラリー№14に掲載され、国交省NETIS登録番号CB－170019－VE及びCG－200016－Aを取得する信頼できる工法です。		
不動産トラ			松本工業所			スペースワン		
『地盤改良』×『土木技術』×『テトラポッド』＝不動産トラ			鋼管柱補強工法			水中ドローン・管路点検クローラーロボット		
・地盤技術『Visios－3D』：リアルタイム施工管理&3次元モデル化システム ・地盤技術『SAVEコンポーザー』：地盤の液状化防止 ・土木技術『土壌還元法』：汚染土壌の原位置浄化技術 ・土木技術『ARブロックナビ』：拡張現実を用いて消波ブロックを据付誘導するシステム ・ブロック技術『消波工3次元モデリングシステム』：消波ブロックの設計施工から維持管理まで高度化かつ効率化するシステム ・ブロック技術『テトラポッド掴み機』：テトラポッドを掴み、設置する技術。展示会では他にも様々な技術を紹介します。			全国で約130万基存在するとされる老朽化した照明柱・鋼管柱の課題に対し、「再生」と「準更新」を実現する2つの革新的技術を提案します。内部補強工法は、高強度アラミド繊維と高強度モルタルによる内部補強により、腐食・欠損した鋼管柱を新品同等以上の強度へ復元する技術です。元位置建替工法は、既存基礎を活用しながら支柱のみを更新できるため、基礎撤去や大規模掘削を不要とし、大幅な工期短縮とコスト低減を実現します。両技術はインフラ長寿命化、脱炭素、ストック活用に貢献する次世代インフラ再生技術であり、既存資産の価値を最大化しながら、未来へつなぐ安心のインフラ社会をつくれます。			CHASING社製水中ドローン、カナダのDeepTrekker社製水中ドローン、同じくDeepTrekker社が開発する管路点検クローラーロボットを展示します。水中部の点検や狭小管内点検をフットワーク軽く実現できるコストに優れた点検撮影ツールをご提案します。		
日本鋼構造物循環式プラスト技術協会			TTES			SD工法研究会		
循環式プラスト工法、循環式ショットピーニング工法、他			いろんな幅の見える化ツール「フォトノギス」			無足場ロックボルト工法のスタンドドライブ工法（SD工法）		
日本の経済発展を支えてきたインフラが老朽化により急速に損傷し始めています。私たちは鋼製橋梁の長寿命化に効果的で、なおかつ環境性と経済性に優れた工法を開発しました。産業廃棄物と粉じんの発生を最小限に抑制した「循環式プラスト工法（建設技術審査証明：建審証第2201号／NETISKTKT230028－VE活用促進技術）」で鋼製橋梁の腐食を予防！さらにそのプラスト機材を有効活用し、既設橋梁でのショットピーニングを可能にした「循環式ショットピーニング工法（NETISCBC180024－VE令和8年度推奨技術）」で疲労き裂を予防！ふたつの工法で予防保全型メンテナンスを推進します。			ひび割れや遊間、目地などの幅変化を、誰でも簡単に継続記録できるインフラ点検支援システムです。対象部に専用マーカーを貼り、撮影するだけで高精度な変化量と場所情報を取得でき、電源・通信設備も不要です。クラウドで時系列変化を確認可能です。点検の属人化を抑え、継続監視や報告業務の効率化、災害時の迅速な状況確認を実現します。（NETISOおよび点検支援技術性能カタログに登録済）			SD工法は、独自のワイヤリングで削孔機を移動し削孔するため、仮設足場や大型重機を必要としません。 1．樹木を残したい 2．資材搬入路がない 3．クレーンが届かない 4．民家裏で足場が組めない 5．交通規制を極力抑えたい といった様々な現場条件に対応することができます。		
建設技術研究所			五洋建設			未来樹脂		
未来につづく安全・安心を			橋梁工事の施工効率化とAIによる内部診断でインフラの未来を拓く			高炉スラグインサート、高炉スラグスパーサのご提案		
防災、インフラ維持管理、建設DXの課題解決につながる最新技術をご紹介します。 ①【新技術】山間部から流れ出る細かい土砂を捕捉し、川の氾濫を防ぐ新しい砂防施設「土砂捕捉スクリーン」 ②【防災DX】事前防災から避難支援、緊急物資管理、下水道管路内のリアルタイム水位監視システム「監視チュウ」など、地域防災力の向上に貢献する「防災DXソリューション」 ③【インフラメンテナンス】レーザー技術とLIBS装置を活用し、コンクリートの現況把握と将来劣化予測を行う点検支援技術「レーザー打音検査装置」 ④【建設DX】AI・BIM／CIM・GISを統合したWebアプリなどで、業務の効率化・高度化を実現する社内AI基盤			C-Xross2026では、橋脚工事での作業効率化が図れる①複合構造橋脚工法シーコム工法と、RC構造物の部材内部の健全性を評価する②RC構造物の非破壊検査システムを紹介します。 ①I形鋼材を芯材に用いることで主鉄筋の本数を減らし、鋼材のユニット化を実現した工法です。配筋作業や鉄筋架台上での作業の削減により、高い安全性を確保しながら、作業人工と施工工程を従来の約50％削減します。 ②自動計測ロボットによる実地での測定とAI解析の組み合わせにより、RC構造物の内部異常を検知するシステムです。小型加振器で発生させた微振動に対する応答波形をAIが評価し、従来は判定が困難だった内部損傷の有無を推定できます。			■ecoスラグ…高炉スラグ主成分とした新素材。環境負荷を大幅に低減し、射出成形で自由な形状を作り出すことができる、未来樹脂が開発した新素材です。 ■ecoスラグを使用した出展商品 ○ecoスラグスパーサ（特許出願中）…モルタルスパーサに代わる軽量で高強度な低炭素時代にふさわしいスパーサです。 ○ecoスラグインサート（特許出願中）…金属インサートに代わる新たな提案。高強度で決して錆びないインサートです。 ■RFID製品管理システムPCa製品にRFIDタグを埋め込み、個別に識別して誤出荷を防止するシステムです。 □展示会場でecoスラグの質感や軽さをぜひその手でお確かめください。		
鉄建建設			KDDIスマートドローン			RN建設		
アンダーパス技術（HEP&JES工法、COMPASS工法）			国交省カタログ掲載！Skydioが実現する、安全なインフラ点検			次世代バージアンロータ船と3D水中施工管理システム		
鉄建建設では道路や鉄道を供用しながら路下にアンダーパス構造物を構築するHEP&JES工法とCOMPASS工法を展開しています。HEP&JES工法は道路等の大断面構造物に適しており、エレメントと呼ばれる小断面の矩形鋼管を特殊なJES継手で結合することで様々な断面の構造物を構築できます。COMPASS工法は水路や人道等の小断面構造物に適しており、プレキャスト函体を推進して敷設する工法で、推進管先端部の鋼製刃口上部に設置した地盤切削ワイヤで地盤を切削しながら推進します。いずれの工法も従来のアンダーパス工法に比べて、地表面への影響が少なく、高精度に、短い工期で構造物を構築可能です。			国土交通省の点検技術カタログに掲載された、最先端のAIドローン「SkydioX10」を活用したインフラ点検ソリューションを出展します。本技術は「橋梁」「トンネル」「港湾」のインフラ3分野で国交省の性能要件を満たした、信頼性の高い新技術です。GPSの届かない暗所や狭小部でも、高度な自律飛行と障害物回避で安全・高精度な撮影データを取得します。高所など危険を伴う現場の安全性を確保し、点検業務実施します。ブースでは実際の導入事例や活用実績に加え、導入から運用までトータルで支援するサポート体制もご紹介します。			（Ⅰ）環境負荷を低減した次世代バージアンロータ船「八洲丸」：①模型展示、②バーチャル船内見学、③VRゴーグルを用いた操作体験、④パネル展示 （Ⅱ）水中施工を3D空間に可視化する施工管理システム「3D水中施工管理システム」：①施工状況の動画紹介、②使用機器の展示、③パネル展示		
中日本高速道路			プレストレスト・コンクリート建設業協会 関東支部			建設業振興基金		
もっと安全に、もっとスムーズに			高度化するニーズに応えながらPC事業の基盤づくりに貢献します			建設キャリアアップシステム（CCUS）		
NEXCO中日本は、高速道路の建設やお客さまに安全で安心・快適な高速道路を24時間365日お届けするための維持管理を着実に行之い、日本の社会・経済を支えることを私たちの役割としています。これからも、時代とともに変化する社会のニーズを的確に捉え、ステークホルダーの皆さまの期待に応える様々な価値を提供し、当社グループの社会的使命を果たしていきます。今回の展示では、現在取り組んでいる新規路線事業や関連グループ会社の製品・事業紹介、将来を見据えた新たな取り組みについてご紹介します。			わが国のプレストレストコンクリート（PC）技術は、1952年の事業化以来、種々のコンクリート構造物に採用され、世界的にも高い評価を確立しております。 1955年、専業者によりPC工業協会として発足した当協会は、その後一般建設業者の参加も得て、現在会員数35社と、わが国におけるPC工事のほとんどを手がけている業者の団体にまで発展しております。 PC建設業界の健全な進歩と発展を図り、それをもって社会インフラの整備拡充および人々の生活を豊かにする開発を究極的目標として、調査・研究と技術の普及に研鑽を積み重ねております。			建設キャリアアップシステム（CCUS）は、就業履歴や保有資格を適正に評価し、建設技能者の処遇改善に繋げると共に、優秀な技能者を育成する所属企業が評価され、受注機会確保に繋がる環境整備を目的に、国と業界が一体となり推進している建設産業共通のシステムです。技能者が保有するICカードに、就業履歴や保有資格を蓄積・登録することで、能力評価を4段階で行います。技能者183.5万人、事業者20.2万社がすでに登録され、CCUSの活用は全国的に広がっています。引き続き国や地方公共団体等のモデル工事で連携共との連携など、官民一体となった取組の推進やCCUS利用拡大に向けたメリットの拡充を一層進めて参ります。		
青木あすなる建設			KTB協会／PCフレーム協会			新地盤凍結工法 ICECRETE協会		
浅水域での水陸両用ブルドーザ、DRFTアンバーを用いた橋梁制震技術			防災・減災、国土強靱化に貢献するアンカー技術と法面受圧板			地球環境に優しい地盤改良工法		
水陸両用ブルドーザは、水深7mまでの浅水域を作業領域とする無線遠隔操縦式の水中建設機械です。1971年の1号機導入以来、全国の沿岸部、河川、ダム等で1200件以上の施工実績があり、近年は防災・減災対策としての港湾・河川浚渫工事や、人の立ち入りが困難な災害復旧工事等でも活躍しています。2022年に新たにマシンガイダンス機能を搭載し、ICT施工対応となりました（NETIS：QS-220011－VE）。 DRFTアンバーは橋脚と桁の間に設置することで、異種金属の摩擦により振動エネルギーを吸収し、レベル2地震時における橋脚の損傷を抑えます。また、常時やレベル1地震時は静止摩擦によりサイドブロックとして働くため、固定条件の橋脚直角方向にも配置できます。			PC鋼より線の素線1本1本を塗装する全素線塗装型PC鋼より線<SCストランド>を使用した「KTB・引張型SCアンカー工法」は、シンプルな構造で削孔径の細径化を実現した経済性に優れたグラウンドアンカー工法です。 そのグラウンドアンカーに使用する受圧板「PCフレーム」は、工場で製作される高品質なコンクリート製受圧板です。施工方法においては「逆巻き施工」も可能なため、従来の「現場打ち法枠工」に比べて安全性に優れ、工期の短縮が可能です。 皆様の課題解決に貢献する当協会の技術を、ぜひご覧下さい。専門の技術スタッフが、最適な工法をご提案させていただきます。			地盤凍結工法の最大の特長は、地盤内に存在する地下水を凍結させ、工事完了後は解凍することにより地盤内に一切の残置物がない、他の地盤改良工法とは異なる「地球に優しい」点にあるといえます。 従来の地盤凍結工法では、地盤を凍結させる冷媒（二次冷媒）として「塩化カルシウム水溶液」を使用し、この冷媒を冷却し循環させるための冷媒（一次冷媒）として「フロン」が用いられるものが主流でした。 当協会では、地球温暖化防止の観点から一次冷媒を「アンモニア」、二次冷媒を「二酸化炭素」の自然冷媒へ転換、温室効果ガス排出量の削減を目指し、「さらに地球環境に優しい」地盤凍結工法であるICECRETE工法を確立いたしました。		
ケミカルグラウト			新光重機			LisB（エルイズビー）		
エコタイトーS 建築基礎に適用できる高圧噴射搅拌工法			遠隔化・自動化重機にレンタルという選択肢			現場のチャット「direct／ダイレクト」		
エコタイトーS工法は、ばらつきの小さい高品質な地盤改良体を造成することができる高圧噴射搅拌工法です。改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数35％を採用することについて、建築技術性能証明（GBC性能証明第14－30号改1）を取得しております。また、施工機械が非常に小さいため、建物屋内などの狭隘空間から施工することができます。この特長を活かして、既存建物の耐震補強・液状化対策や、建替え工事における直接基礎の築造など、建築分野で幅広く採用いただいております。			既存建機に後付けで、遠隔・自動運転を実現。油圧ショベル、キャリアダンプ、ブルドーザー、振動ローラー、ホイールローダー等、あらゆる建機に取付可能。			LisBのブースでは、現場向けの業務効率化ツールをご紹介します。建設やインフラなど10000社超の企業が導入しているビジネスチャット「direct／ダイレクト」は、シンプルな操作性や、協力会社と安全につながるセキュリティ機能に加え、タスクの管理も可能です。その他にも撮影するだけでクラウド上で写真が自動共有され、タグや電子小黑板での自動分類も可能な「タグショット／タグアルバム」、現場の知識や技術を動画で共有できる企業向け技術継承ソリューション「ナレッジ動画」など、様々な業務効率化ソリューションについて詳しくご説明いたします。弊社ブースへお気軽にお立ち寄りください。		
コルク			インフラ物性研究機構			太陽誘電		
デジタルツイン施工計画クラウド「KOLC+」			舗装再生の最前線（SPring－8が広げた世界）			水害モニタリングソリューション		
KOLC+（コルクプラス）は、BIM／CIM、点群、2D図面、IoT、GNSSなどをクラウド上で統合・一元管理できるデジタルツインサービスですが、ついに3DGS（3D Gaussian Splatting）も統合可能になりました。3DGSをBIMや点群と統合し、土量計算、断面図化、断面解析、マークアップ、3Dメモ等の多角的な活用が可能です。3DGSを「見る」だけではなく、「測る・比べる・活用する」新たなフェーズをぜひご体験ください。			道路舗装分野では、維持管理の効率化と長寿命化、さらにCO2削減や再生骨材利用による環境負荷低減が重要課題となっています。これらを解決するには、デジタル技術を活用したアセットマネジメントの高度化に加え、再生骨材利用技術と中温化技術を組み合わせた新工法の導入など、多面的な技術革新が求められます。すなわち、目視中心の事後保全から、損傷要因の科学的解明と劣化予測に基づく予防保全への転換が不可欠です。インフラ物性研究機構は、産官学連携のもとSPring－8を活用したミクロレベルでの損傷要因解析を進め、舗装技術の高度化に寄与しています。			豪雨災害の激甚化に伴い、水害対策の重要性が高まっています。当社は、水位計・冠水センサ・浸水センサを活用したソリューションをご紹介します。河川や水路の水位監視、道路冠水の早期検知、建物や設備の浸水検知をリアルタイムで実現します。異常発生時には即座に情報を通知し、迅速な避難判断や設備保護を支援します。ブースでは来場者様に具体的な活用イメージをお持ちいただけるよう、浸水検知および異常通知のデモンストレーションを実施させていただきます。自治体、インフラ事業者、工場、商業施設など幅広い現場で導入可能です。大切な人命と資産を守るための防災・減災対策をご紹介します。		

ともに創る建設の未来。



日本工営 人手不足時代のインフラマネジメントDX 日本工営は、東京海上グループの一員として、社会インフラ分野で培った知見とデジタル技術を活用し、防災・減災やインフラ維持管理の高度化を通じて、社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献しています。展示会では、衛星SAR解析による地盤・インフラ変動モニタリングシステム「LIANA」、道路等維持管理支援システム「Manesus」、AI橋梁点検ツール「Hashimiru」、公共樹木データベースシステム、防災マネジメント支援システム「Stage」、水路点検システム「モモタロウ」、藻場創生適地提案システム「MobaDAS」等、人手不足時代のインフラマネジメントを支える先端技術の展示・紹介を行います。	日本工営都市空間 まちづくりの課題解決につながる実践的なヒントを。 日本工営都市空間は、自治体が抱えている人口減少やインフラ老朽化、脱炭素化など、自治体を取り巻く自治体課題解決を支援します。展示では、3D都市モデルや先進計測技術の活用事例をはじめ、スマートシティ、都市再生、脱炭素など、サステナブルなまちづくりに向けた取り組みをご紹介します。課題解決のヒントとなる事例もご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。 ＜展示内容＞ ・スマートシティ実現に向けた3D都市モデル ・SLAMを用いた3次元計測技術 ・土地区画整理の技術を活用した都市課題への対応 ・脱炭素に向けた取り組み	安藤ハザマ 気象データサイエンスによる施工管理・労働災害防止技術 安藤ハザマは気象データをフル活用し、施工サイクル全体を支援します。工事着工前には過去の気象データを分析し、気象リスクを定量的に把握。毎日の現場管理には「ピンポイント天気予報KIYOMASA PRO」を活用し、現場周囲1km×1kmの天気を5分間隔で予報します。時間雨量や積算雨量のアラート基準設定も可能です。予報をもとにした工程変更はエビデンス付きで記録し、ゲリラ豪雨や雷、突風などシビアな気象現象に対応しながら施工を進められます。さらに日々の危険予知活動は「気象危険予知KKY」を活用し、過去の気象・労災データから災害を推測・共有することで安全意識の向上に寄与します。ぜひブースにお立ち寄り下さい。
セントラルコンサルタント 3DGS現場調査・違法駐輪AI解析・ICT流域治水対策 ①3DGS（ゲームエンジン）を活用したバーチャル現場調査：3D空間上に現場をバーチャルに再現し、遠隔地から複数人で現場調査・協議を行う仕組みづくりなどを提案します。 ②違法駐輪のAI解析：AIによる画像解析により、人・モノ・交通などを自動で検出・解析。違法駐輪の画像を学習させることで違法駐輪車を特定し検出できる技術を提案します。 ③流域治水対策の見える化：浸水時の状況や災害復旧計画をシミュレーションやVR、3次元モデルによる可視化への取組みを提案します。 ④道路設計におけるBIM／CIMの活用：BIM／CIMを活用し、走行シミュレーションと地下埋設物の干渉チェックを行った技術を提案します。	ワキタ 遠隔操縦技術・インフラ点検DX化 【遠隔操縦技術】簡易脱着式汎用遠隔操縦装置をご紹介します。この装置は建機を改造することなく着脱することができます。また高速・大容量通信技術と組み合わせることで、超遠隔地から建機をリアルタイムに操作することができます。 【インフラ点検DX化】手に持って歩くだけで簡単に3次元測量できる、ハンディ型レーザースキャナLiDARSLAM「RS10」を展示。洞道・鉄塔・ポンプ室・太陽光発電設備など、インフラ点検DX化の取り組みをご紹介します。フォトリアルな3DGSデータ活用、点群からの3Dモデリング、360°パノラマ写真にも対応可能です。	アイシン 交通事故ゼロを目指す社会へ。AIで道路管理DX「みちログ」 令和7年度岡崎市では、道路穴に起因した交通事故0件、年間9000件の異常検知。みちログは自動車部品メーカーとして培ってきた技術を活用し、現場の声を反映して、使いやすさに重点を置いた道路維持管理支援サービスです。 道路のAI画像解析により、ポットホールやひび割れ、白線かすれなどの道路異常を自動検知。また、市民通報管理やLINE通報にも対応し、電話対応や現地確認などの業務軽減にも貢献しています。道路パトロールから補修管理まで、道路維持管理のDXをぜひブースでご体感ください。 国・自治体の皆さまをはじめ、建設コンサルティング企業や、新たなサービス創出に関心のある皆さまのご来場をお待ちしております。
日さく 創業明治45年の歴史で蓄積した技術を駆使したサービスを提供 井戸に取り付ける手押しポンプは、災害の発生によって、水道水の供給が途絶えた場合でも、動力源不要で生活用水の確保ができます。また、ポンプ部が水面下となる構造のため、地下水位の低い井戸でも優れた揚水能力を発揮します。 当社では、道路下陥没の早期調査として地中レーダー探査機を保有しており、埼玉県内で活躍しています。また、常時微動を測定することにより、地下地質構造の可視化を図る微動アレイ探査も実施しています。	エクシオ・デジタルソリューションズ/NDIソリューションズ 「プロジェクト×工事原価管理×AI」トータルソリューション 建設業特有の複雑な「業務プロセス改善」と「原価管理のコスト削減」をまとめて支援。 エクシオ・デジタルソリューションズの「プロジェクト管理ソリューション」では「業務プロセスの可視化・改善」を実現。 NDIソリューションズの工事原価管理システム「シューエグゼキュート」では、「月次決算の早期化」、「問題工事の早期把握」、「管理コストの削減」を実現。 本展示では、この2つのソリューションを連携し、建設業向け基幹トータルソリューションをご提案します。また、対話型AI「ヒヤリハットあるちゃん」と予測・提案型AIを活用した次世代の工事原価管理システム「C2E、AI」の情報も、いち早くお届けします！	ジャパン・インフラ・ウェイマーク ドローンによる橋梁点検 当社ブースでは、ドローンとデジタル技術を活用したインフラ点検ソリューションをご紹介します。橋梁点検で活用するドローン技術をはじめ、点検記録の作成・管理を効率化する電子野帳アプリを実際に操作できる体験型デモをご用意しています。また、狭隙部や複雑な屋内空間でも安全に進入可能な小型ドローンの「Skydio R10」の展示も実施。現場の安全性向上や省力化、業務効率化を実現する最新の点検技術をご紹介します。橋梁をはじめとしたインフラ維持管理に携わる皆様の課題解決に役立つソリューションをぜひ会場でご体感ください。
ポップリベット・ファスナー 新技術・片面施工・省人化・無火気POPワンサイドボルト 建築・土木分野の片面施工締結技術を提供するメーカーです。自動車・電機業界でも幅広い実績があります。建設技術展に初出展し、橋梁補修や改修の省人化、建築新設、安全性向上に貢献する締結ソリューションをご紹介します。 展示製品は、締結完了時間4秒の新製品「POP高力ワンサイドボルト」、M12ボルト相当の強度を有し、振動に強く取り外しも可能な新製品「P-L OCK S」、締結時間0.5秒の「高強度ポップリベット」、ポップナット」、および「パッテリ式専用締結工具」です。狭隙部や無火気環境でも片面側から施工でき、施工性・安全性・品質の向上を実現します。ぜひ当社ブースで実機展示をご体感ください。	高洋商会 透水ボード型枠【アクアトル】透明型枠【クリアフォーム】 透水ボード型枠【アクアトル】は業界初の「ボード」型の透水性枠です。コンクリート表面の余剰水や空気を排出することで、高品質なコンクリートに仕上がることはもちろん、気泡(アパタ)が発生せず、美観も向上します。またボードである利点は取り付けに掛かっていた手間の軽減や嫩発生を劇的に削減できます。現場の声を反映して10年以上経て開発した透水性枠の新基準を提案いたします。 透明型枠【透（クリア）フォーム】は打設管理を可視化し、高品質で安心・安全なコンクリート仕上がりに必要な不可欠な型枠技術です。使用現場は累計3000現場を突破し、橋脚下部上部工、護岸、トンネルなど、あらゆる躯体工事に使用が可能です。	メインマーク 【東京都新技術登録】既存舗装を壊さない道路下空洞充填工法 省スペース施工で工期・コストを削減できる道路下空洞充填工法「テラテック工法」をご紹介します。 テラテック工法は、東京都建設局新技術情報データベースに登録された沈下修正工法です。路面下に発生した空隙・空洞に対し、アスファルト表面から小口径の削孔を行い、特殊ウレタン樹脂（テラテック樹脂）を注入・充填します。大規模な開削・はつり工事を伴わないため、交通規制を最小限に抑え、夜間等の短時間施工が可能です。 注入された樹脂は地中で膨張し、空洞の隅々まで行き渡り、道路の陥没を未然に防ぎます。また樹脂の膨張力は、周辺の緩んだ地盤を締め固める効果も発揮し、インフラの長寿命化に貢献します。
矢崎エナジーシステム 矢崎の商用車プローブデータ 業務用車両（商用車）に搭載が義務付けられているデジタルタコグラフから運行情報を取得し「商用車プローブデータ」としてご提供しております。 矢崎のデジタルタコグラフとドライブレコーダーの一体型車載器にて、商用車の運行情報を24時間、毎日、年中、休む事無く、全国分のデータを高密度（0.5秒）で取得し蓄積しております。そのデータは1日で2800万km（※2025年9月時点）を超える大容量プローブデータです。 日本全国を走り回るトラック・バスのデータから「走行経路」「通行量・平均通行時間」「ヒヤリハット情報」などを用途に合わせてご提供いたします。道路維持管理、道路交通計画、交通安全対策前後比較や災害復興計画などにご活用いただけます。	リモート・センシング技術センター 衛星画像を活用しよう！—地表面変位計測サービス「RISE」— 一般財団法人リモート・センシング技術センターは、衛星画像や衛星リモートセンシングに関する研究開発から運用・利用に至る総合力でトータルソリューションを提供し、環境問題、災害、国土管理、農林水産など様々な分野の社会課題の解決に取り組んでおります。 今回、建設技術展2026関東でご紹介するサービスは衛星画像のみから地表面の変位を計測するもので、広範囲を一度に計測し、国内外問わず対象箇所及びその周辺の地表面変位の状況をご確認頂けます。 近年、様々な分野で衛星画像の利活用が進んできている中、弊財団のブースでご来場者様にとって有益な情報収集の場になると幸いです。皆様のお越しをお待ちしております！	I H式塗膜剥離技術協会 I H式塗膜剥離工法 I H式塗膜剥離工法は、高周波で橋梁の塗装を剥がす工法です。高周波で鋼材表面に発生するジュール熱が塗装との接着面の付着力を乖離させることでスクレーパーで粉塵飛散を抑えて、フィルム状にはく離させることができます。当協会の装置エレクトロリムーバーは、小型で現場での取り回しが良いので、足場架設が出来ない跨線橋や歩道橋での実績があります。
竹中土木 ICT盛土管理システムを利用した総合的盛土 盛土施工管理における材料、施工、品質の各工程をICT技術で統合管理するシステムです。材料品質管理では、全ダンプの粒径と含水比を短時間で計測し、高品質な材料確保を可能にします。施工管理においては、2基のGNSSアンテナを搭載した「Dual Mast Roller」により、勾配地や旋回時でも水平20mm、鉛直30mm以内の高精度な転圧軌跡管理を実現しました。さらにR1ロボットが自律走行で締固め密度試験を自動化。これらのデータをクラウドで一元管理することで、盛土の品質向上と省人化をトータルで実現し、次世代の土木施工管理のスタンダードを提案します。	日本物理探鑑 見えない地下に迫る複合探査技術 私たちは創業より83年、見えない地下の情報と向き合ってきました。地中探査から地質調査まで幅広く手掛ける当社ならではの調査技術をご紹介します。 地中レーダー探査、磁気探査、インテグリティ試験、ドローン調査などを組み合わせ、埋設物の把握、既設基礎の調査、地盤リスク評価を行った事例を展示します。さらに、AIを活用したデータ解析による効率化・高度化にも取り組んでいます。陥没事故や埋設管接触事故、予期せぬ設計変更・施工停止などのリスク低減に貢献する総合的な調査・評価技術を通じて、安全で効率的なインフラ整備をご提案します。	エアーム 構造物の調査点検・維持管理ソリューション「Panoca」 Panocaは、図面やパノラマ写真、現場の記録をまるごと一括管理するクラウドツールです。現場のタブレット端末上で図面に直接撮影位置を記録し、写真上の損傷等には情報と紐づいた属性タグを配置して管理します。この情報は自由に設計できるため、様々な調査・点検業務へ適用でき、「群マネ」のような維持管理業務にも幅広く対応可能です。点検履歴の蓄積によって損傷進展を容易に把握できるほか、損傷傾向を図面に色分け表示する分析機能や帳票の自動生成も備えます。さらに単眼深度推定AIを活用することで、写真1枚から寸法計測を実現し、高所作業の削減や点検業務の省力化・安全性向上、関係者間の円滑な情報共有を力強く支えます。
若築建設 DC-PC栈橋 供用休止5割減の栈橋構造 DC-PC栈橋は、現場打設RC栈橋に比べて多くのメリットを持つ新形式の栈橋上部構造です。まず、上部工が軽量化されることにより杭本数が減少し、施工コストの削減が期待できます。また、プレキャスト部材を使用することで海上施工のスピードが向上し、工事技術者の作業負担が軽減されるため省人化が可能となります。さらに、施工過程で発生するCO₂を削減することで環境負荷を軽減します。加えて、プレストレストコンクリートを採用しているため、栈橋の維持管理性が向上し、長期的な性能を保つことができます。このように、DC-PC栈橋は機能性や環境面、施工効率において優れた構造形式を提供します。	鴻池組 建設DX、インフラ再生、環境技術にも「まじめに、まっすぐ」 建設業界では、不足する労働力や衰退する技術力を補うために生産性向上・省力化工法を導入することや、持続可能な社会の構築のために環境に配慮した材料を開発することが不可欠となっています。今回は、老朽化したトンネルにおいて、安全かつ高速に覆工表面を切削除去し覆工コンクリートを再構築する「Reライニング工法」、人に代わって現場巡回や危険箇所の点検を行う四足歩行ロボット『KOCOro／心』、鴻池組が手掛ける環境配慮型コンクリートブランド『Kcrete』など、鴻池組の建設技術に関する取り組みについてご紹介いたします。	シーティーエス 現場業務支援サービス サイトアシストパッケージ（SAP） サイトアシストパッケージ（SAP）は、働き方改革や労働人口減少による深刻な人手不足に対応するため、ICTを活用して建設現場のDX化・生産性向上を支援する情報共有インフラサービスです。クラウドストレージ・クラウド映像サービスなど複数のデジタルサービスを、お客様のニーズに応じて柔軟に組み合わせることで、現場データの一元管理・共有・活用を実現。高画質なクラウド映像により現場を見える化し、リアルタイムで正確な指示・支援を可能にします。
アジア航測 空間情報技術で社会をつなぎ地球の未来を創造する アジア航測株式会社は、国土の保全や社会インフラにかかわる様々な課題に対し、「測る技術」を基軸とした事業により、解決策を提供し続けてきました。私たちの社会的使命は、過去と現在、未来をつなぐ地理空間情報を核として、常に技術の深化や探究により新たな価値の創造に挑戦し続け、社会課題に誠実に向き合い解決するエンジニアリング企業として、安全・安心で持続可能な社会の構築に貢献することです。今回は、当社が保有する最新機材（LP・ALB、MMSなど）を用いた空間計測技術、DX・AXとして3次元データを用いたコンサルティング技術をご紹介します。	和建 手間もコストも脱却！送電線工事をスマートにする「Wマット」 従来の送電線工事で必須だった碎石、マクラギ、敷鉄板による軟弱地盤対策。Wマットは、それらすべてを「不要」にする革新的な軽量覆工板です。圧倒的な軽量化により、材料費だけでなく運搬費も大幅にカット。現場のコスト削減と省力化をこれ1枚で実現します。ぜひブースまでお越しください。	リフリート工業会 インフラマネジメント：長寿命化にむけた維持管理サイクルの提案 近年、頻発する激甚災害の経験を踏まえると、安心・安全な未来社会を構築していくためには「インフラ構造物の長寿命化」に向けた諸施策の具体化と実行の推進が望まれます。リフリート工業会では信頼と実績を有する「リフリート工法」を中心とし、太平洋セメントグループが有する技術を活用した維持管理サイクルをご紹介します。老朽化した構造物の調査・診断から補修材料・補修工法の提案・実行、モニタリング機器類の設置まで、様々な技術で揺るぎない未来社会を築いてまいります。
清水建設 脱炭素社会の実現に向けた技術 シミズグループは環境ビジョン「SHIMZ Beyond Zero 2050」のもと、自社活動による負の影響をゼロにし、顧客や社会にプラスの環境価値を提供する未来を目指して、環境価値の創造に取り組んでいます。ブースでは、木質バイオマスを炭化した「バイオ炭」をコンクリートや地盤に混合し炭素を貯留する技術、大気中のCO₂をコンクリートに吸収・固定化する技術、海水から直接CO₂を回収する技術など、最新の技術を紹介します。	日本道路 ～道路の脱炭素化に向けた新たな取り組み～ 深刻化する地球温暖化に対し、排出削減には限界があります。弊社は道路を「炭素の貯蔵庫」へと進化させる技術で、インフラを環境負荷の源から「環境貢献」の象徴へと再定義します。『バイオ炭アスコン』『モクロック』は、道路自体が炭素を固定・吸収する革新的な技術です。さらに『PETアスコン』『スーパーPETアスコン』では資源を有効活用し、施工時の排出を極限まで抑制します。これらの環境工法は、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた極めて有効なソリューションです。	飛島ホールディングス(飛島建設/テクアノーツ/極東建設) サイバー建設現場システム／潜水技術／水中水陸両用バックホウ他 飛島建設は、BIM／CIMと現場情報をクラウド統合し遠隔臨場を実現する「サイバー建設現場」、全自動ドローンによるインフラ点検・地表変位計測、LiDARでトンネル切羽を高速可視化する「TFS-Mapper」、最先端ICTで建設現場のDXを推進。テクアノーツは潜水管理と水中削削・耐震補強を融合した総合潜水技術、作業時間を1／24に短縮する可変式浮床橋等、水中・海上施工のプロ集団。極東建設は水深50m対応の水中・水陸両用バックホウで、岩盤穿孔から浚渫、サンゴ移築まで幅広く対応する技術力を誇ります。

C-XROSS 2026 Construction Xross 2026			ともに創る建設の未来。		
因幡電機製作所 C-23 長寿命道路照明設備「Els」 「Els」は電気特性の見直しと適切な配光制御により、高いエネルギー消費効率を実現した「高効率道路灯」、紫外線に強いフッ素と化学物質が規則的に結合し、強固な塗膜を形成する「超耐候性フッ素ハイブリッド粉体塗装」、シミュレーション解析と実物による検証試験によって疲労等級A等級を実現した「高疲労等級リブス」の3つを組み合わせた道路照明設備です。 省エネルギーかつ高寿命な設備を提供することで道路照明インフラの長寿命化に貢献します。			豊国工業 C-24 先人の技術の結晶を現代の技術で磨き上げ未来へつなぐ水門メーカー 我社はダム、河川、水路、港湾などに設置される、水門設備の専門メーカーです。水害から人々の命や暮らしを守り、豊かな暮らしに必要な水を制御するため、新たな技術に挑戦し、更なる技術の向上を目指して未来に向けた活動を行っています。本技術展では、コンパクトな水門用ワイヤロープウインチ式開閉装置、LPWAを活用した危機管理型水門管理システム、アプリでの水門遠隔操作システムをご紹介します。ブースでは、これらの製品に関するパネルや模型を展示します。LPWAを活用した危機管理型水門管理システム、アプリでの水門遠隔操作システムに関しては、デモ機の確認、操作の体験も出来ます。ぜひ『ホウコク』のブースにご来場ください。		
エスイー C-26 HALUパネル工法・SEEEグラウンドアンカー工法 【HALUパネル工法】表面材であるHALUパネルと地山に造成した補強材を頭部定着材で連結し、一体化した補強土壁を構築することで、法面の安定化を図る切土補強土工法です。特長：①工場製品で施工が容易なため、現場の省力化・工期短縮が図れる②逆巻施工で1段ごとに補強土壁を完成させるため、施工時の安定性が確保できる。 【SEEEグラウンドアンカー工法】「頭部定着具の耐震性」と「緊張力調整機能」が確認されたアンカー工法です。特長：①衝撃荷重、繰返し荷重に対して定着機能を維持できる②緊張力の変動に対して適切な調整ができる③ポリエチレン被覆および防錆油により防食性が高い④全長にわたり二重防食構造のため耐久性が高い。			アストン協会 C-27 コンクリート構造物の予防保全・長寿命化対策CS-21シリーズ CS-21シリーズ(液体・けい酸塩系表面含浸材)は、橋梁・トンネル等、コンクリート構造物の予防保全・長寿命化に有効な表面保護工法(表面含浸工)。1993年にアストン社が開発した国産材料。新設・既設を問わず1800件(国交省650件)超の公共事業で採用。北海道から沖縄まで、全国約40社のアストン協会会員が材料販売・施工に対応。コンクリート表面から塗布・浸透させることで、微細ひび割れや打継目を含む表層部を緻密化、水や劣化因子の侵入(鋼材腐食)を長期にわたり抑制。水分供給が繰り返される雨掛部等では継続する反応により、ひび割れの進展・拡大を抑制。新築建物の躯体防水、打継ぎ部処理、漏水補修にも適用可能。		
シバタ工業 C-29 細粒土砂の流出防止 土砂捕捉スクリーン&流木スクリーン 「土砂捕捉スクリーン」は中長期的な細粒土砂の流出による災害を防止すること、かつ簡易に設置が可能な新しい砂防施設として株式会社建設技術研究所とシバタ工業株式会社が共同で開発しました。 特に、山地部に近い新興住宅地や山間地で流木水路が十分でない集落等において、豪雨災害後の土砂による氾濫被害を防止・軽減いたします。「流木スクリーン」は、掃流区間に適用できる流木捕捉工です。縦断方向に長い断面構造は、流木捕捉時の外力に対して、転倒に安定した構造で、捕捉面積が広く、かつ捕捉面が傾斜構造となっているため、流水と流木を分離しやすく、効率的に流木を捕捉します。			西松建設 C-28 横浜湘南道路トンネル工事／山岳トンネル無人化・自動化施工技术 横浜湘南道路トンネル工事(当社JVが神奈川県内において施工中)の施工技術および当社が開発を進めている山岳トンネルの無人化・自動化施工技术の中から、以下の技術を紹介いたします。 ①NS-BRAiNs：シールドトンネルの設計データや施工時の各種データを取り込み、分析・評価することで、異常を検知し、トラブルを未然に防ぎシステム、②GFRCCセグメントを活用した大口径シールドによる地中接合の施工実績、③Tunnel RemOS：山岳トンネルの無人化(遠隔操作)・自動化施工システム、④パッチャープラント材料自動管理システム、⑤濁水処理設備総合管理システム：濁水処理設備の薬品添加量をAIで自動調整するシステム。		
Polyuse C-31 建設用3Dプリンタで工期短縮と省人化を実現 株式会社Polyuseは、日本の建設現場に最適化された建設用3Dプリンタを開発・提供する国内唯一のメーカーです。これまで人の手で行ってきた現場打ち構造物の施工を機械による造形へ置き換えることで、深刻化する建設業の人手不足の解消と、型枠工程の削減による大幅な工期短縮を実現します。 構造物のみの発注が可能：3Dプリンタをお持ちでない現場でも、構造物単体での発注が可能です。 全国配備で高いアクセス性：全国への機材配備が進み、どこからでも3Dプリンタ構造物にアクセスしやすい環境を實現します。 300件超の施工実績：道路・河川・港湾など、土木・建築分野で国内シェア90%超の実績事例をご紹介します。			旭イノベックス C-34 無動力自動開閉ゲート 旭イノベックスは1952年の創業以来、公共事業である水門、橋梁、水管橋、鋼管、各種鋼構造物の設計、製造、据付を行っております。特に、異常気象や自然災害による洪水や高潮、津波などから人を守り無人無動力で自動開閉する「オートゲート」を開発し、全国で3300門を超える施工実績を有しております。 この技術は世界に問うべき日本の防災技術として高く評価されております。私たちは、「旭」の技術を形にし、社会資本整備を通して国民の貴重な生命と財産を守る社会活動に貢献しております。 また、長年培った金属加工を主軸に、進化する技術を取り入れ、守るべきものを伝承し、世界が抱える多くの困難解決に挑戦しつづけてまいります。		
東京建設コンサルタント C-34 非接触式河川表面水温連続観測、水門開閉状況一元監視 IoT・ICTによる防災や環境に関するDXや維持管理に関して、(1)LPWAとセンシング技術により引上げ式水門・樋門の開閉状況を自動検知し、土木研究所が定める標準データ仕様に準じたデータを送信するシステム、(2)河川環境要素である表面水温を非接触センサーで連続観測し、クラウドを通じてリアルタイム配信可能とする安価で維持管理が容易なシステム、(3)「流域治水デジタルテストベッド」を活用し、水害ハザードや暴露、貯留機能等に関する評価指標を可視化するビューアなどを紹介致します。また、遊水地の設計を効率化・高度化する技術開発として、無動力式起伏ゲートを用いた越流堤の共同開発内容に関して展示・紹介を行います。			ピース・コンストラクション C-35 コンクリート構造物の補修・補強技術を多数展示 当社は1952年の創立以来、プレストレストコンクリート技術の日本初のパイオニアとして、各種の建設工事に数多く実績をあげており、国内有数のPCセオニアとして競争が熾烈な建設業界の中でも独自の存在感を堅持しながら事業を展開しております。 「LAC脱塩工法」、「UB-WALL工法」の他、補修・補強技術を多数展示しております。展示ブースへ是非お立ち寄りください。		
ピーエスケー C-35 PC橋工事を支える総合資機材の提供サービス 当社は、PC(プレストレストコンクリート)工事に係る資材・機材の提供およびエンジニアリングを行う総合資機材会社です。橋梁はその形式や施工条件によって最適な架設方法が異なるため、当社では現場条件やお客様の要望に応じた架設計画を立案し、それに適した機材の提案・提供を行っています。 本展示では、エレクションガーダーや移動作業車(フォールパワージェン)をはじめとする架設機材や各種架設工法についての紹介を行うとともに、シースや接合キー、偏向管といったPC橋梁用資材の実物展示を行います。さらに、施工事例の紹介を通じて、計画から現場対応までの技術をご覧いただけます。			東洋建設 C-36 カーボンニュートラルに向けた技術と取り組み 洋上風力事業の中核資産として新造した国内最大級の自航式ケーブル敷設船「DISCOVERY」とNEDOの未来型新エネルギー実証制度に採択された「国内の複雑な海底地盤に対応したケーブル埋設技術」をご紹介します。 また、生態系に配慮した海洋環境の形成に向けた人工干潟や藻場造成、海面処分場でのCO₂の固定化技術など、環境負荷軽減に向けた様々な取り組みもご紹介いたします。 東洋建設は再生可能エネルギー事業の普及促進と地球環境の保全に向けた取り組みを通じてカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。		
パシフィックコンサルタンツ C-38 「サステナ∞レジリエンス社会」へ挑戦 私たちパシフィックコンサルタンツは、社会課題を解決に向けて『サステナ∞レジリエンス社会』へ挑戦します。 【挑戦1】分散型インフラマネジメント ～人口減少に適応し、価値を生み出す分散型インフラへの挑戦～ 【挑戦2】オールレジ・レジリエンス ～犠牲者ゼロを超えて、社会経済を止めない災害レジリエンスを全方位で追求～ 社会課題を6つの視点(①インフラ維持管理、②交通・モビリティ、③地域マネジメント、④環境・循環・エネルギー、⑤PM/CM、⑥デジタル基盤)で捉え、インフラエンジニアリングを核とした先進的なサービスを提供することで、その解決に貢献します。			大成建設グループ C-39 インフラの長寿命化と生産性の向上を図る最新技術 当社グループは、インフラの長寿命化、建設現場の安全性・生産性向上、脱炭素・資源循環の実現に向け、多様な技術開発を進めています。 本展示では、山岳トンネル工事の自動化・機械化技術をはじめ、通常の約10倍の耐硫酸性を有し下水道施設の長寿命化に貢献するコンクリート、道路インフラの脱炭素化を推進する埼玉県・福島県の研究・実証拠点、水中の堆砂を効率的に処理してダムの長寿命化を支える技術、さらに道路舗装や既設構造物など社会インフラの維持・補修技術をご紹介します。 未来の社会インフラを支える技術をぜひご覧ください。		
東京ソイルリサーチ C-41 小型凍結サンプリングと構造物の図面復元・劣化診断技術 原位置地盤凍結サンプリングは、地盤を凍結して乱れの少ない高品質な土質試料を採取する技術です。開発した小型凍結サンプリングは、コンパクトな機構により従来手法と比べてコストと採取工程を大幅に削減できます。 構造図復元調査は、構造図が残存しない既存構造物の躯体調査を行い、構造図を復元する技術です。高所や暗所はドローン撮影による調査も併用し、構造物の部材配置や劣化状況を把握することで、建築・土木分野の幅広い構造物診断に対応します。			エイト日本技術開発 C-41 価値ある新技術を未来に～インフラDXの高度化～ エイト日本技術開発は、これまで培った技術力とAI・デジタル技術を融合し、防災・インフラDXを推進しています。NEDO Challengeで高評価を得た水ソリューションサービスでは、AUV・ASV・UAVグリーンプレーザによる三体連携で高精細な水域データを取得し、解析から対策までワンストップで提供。藻場計測でブルーカーボン創出事業を支援します。 また、クロー型ロボットとGaussian Splattingを連携させたインフラ点検・災害対応技術、AIによる被災者・被害検知システム「SCATCH」を展示。さらに地域公共交通計画の策定を支援するAIツールにより持続可能な地域交通の実現を支援します。		
首都高速道路技術センター C-43 点検訓練シミュレーターほか 当法人では、首都高の現場で培ったコア技術である鋼橋疲労対策を始めとする道路構造物の調査診断、スマートインフラマネジメントシステム(i-DR EAMs)による道路インフラのアセットマネジメントなどの最先端技術を行っています。さらには、維持管理の効率化、防災技術の高度化及び加速するデジタル化への対応に向けて、研究開発に取り組んでおります。			伊藤製鐵所 C-42 「ONICON」「ネジonicon」と機械式定着・継手工法 伊藤製鐵所は1962年、他社に先駆けて高強度の異形棒鋼「ONICON」を開発し、半世紀以上にわたり鉄筋業界を支えてきました。ビルから道路・橋・トンネルまで、多彩なサイズ・種類で幅広い現場ニーズに対応します。 使用済み鉄スクラップを電気炉で再生し新たな鉄筋として社会に循環させるリサイクルにも注力。さらに現場施工の負担を軽減する機械式定着工法、機械式継手にて施工性向上と省力化を実現。また、新製品「コフンバー」もご紹介予定です。確かな技術力で建設現場をサポートする当社の取り組みを、ぜひブースでご覧ください。		
首都高技術 C-43 こんな～連続打音検査装置～ 高所や狹隘部の打音点検を効率化する連続打音検査装置。			伊藤製鐵所 C-42 「ONICON」「ネジonicon」と機械式定着・継手工法 伊藤製鐵所は1962年、他社に先駆けて高強度の異形棒鋼「ONICON」を開発し、半世紀以上にわたり鉄筋業界を支えてきました。ビルから道路・橋・トンネルまで、多彩なサイズ・種類で幅広い現場ニーズに対応します。 使用済み鉄スクラップを電気炉で再生し新たな鉄筋として社会に循環させるリサイクルにも注力。さらに現場施工の負担を軽減する機械式定着工法、機械式継手にて施工性向上と省力化を実現。また、新製品「コフンバー」もご紹介予定です。確かな技術力で建設現場をサポートする当社の取り組みを、ぜひブースでご覧ください。		

（第3種郵便物認可）			日 刊 建 設 工 業 新 聞			2026年（令和8年）10月16日（金曜日）（14）		
C-XROSS 2026 Construction Xross 2026								
佐藤工業			ニチバン			森環境技術研究所		
HMD無線遠隔操作システム、切羽監視システム			建設現場の施工短縮に貢献する粘着テープ「せこたんシリーズ」			泥に悩む時間にサヨナラ 高含水泥土改良剤MTシリーズ		
佐藤工業は、『建設品質。』をキーワードに、社会・お客さまの満足度向上と高品質・高付加価値の実現のために、トンネル施工時の省力化、省人化による生産性向上への取組みを行っています。 一つはHMD（ヘッドマウントディスプレイ）を用いてドリルジャンボを無線遠隔操作するシステムです。切羽画像、ズーム画像、パススルー画像の三つの画像を合成してHMDに表示し、ジャンボ操作室にいる感覚で無線遠隔操作が可能となります。 もう一つは、トンネル切羽監視システムです。LiDARとカメラから得られる点群・画像データを基に掘削方向及び上下左右方向に切羽の変位を算出することで、切羽近傍の作業員の安全性を向上させます。			建設現場の施工短縮に貢献する粘着テープ「せこたんシリーズ」をご紹介します。 ①湿ったコンクリートにも貼付可能な「せこたん湿潤コンクリート用粘着テープ」、②コンクリートひび割れ補修工法の1つである低圧注入工法に使用する目止め材「シールテープせこたん」、③連続繊維シート接着工法（格子貼り）における養生材の「貼付・カット」が1回で済む4層構造のテープ「せこたん積層養生テープ」④その他開発中技術もご紹介。			これまで建設現場で泥が発生した際には、バキューム車による吸引、天日乾燥、セメントや石灰による固化等が用いられてきましたが、時間やコストが問題でした。 この問題を解決するため「いかに短時間で安価に泥を搬出させるか」というテーマで開発したのが、高含水泥土改良剤MTシリーズです。 ブースで実演を行いますので、実際に改良具合をご覧いただけます。持ち帰り用サンプルもご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。		
国土交通省 関東地方整備局			丸藤シートパイル			国土防災技術／サンスイ・ナビコ		
関東地方整備局の取り組みを発信！ 採用情報窓口／首都圏広域地方計画推進室／防災室・災害対策マネジメント室／横浜グリーンエクスポ			NETIS登録のRG工法で工期短縮、産廃処分ゼロを実現			国土と水と緑の技術&斜面防災に関する製品をご紹介します！		
関東地方整備局が取り組む事業の紹介をはじめ、今年6月に策定された第3次首都圏広域地方計画や、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による自治体支援の取り組み、2027年に開催を控えた横浜グリーンエクスポについて紹介します。 また、関東地方整備局に興味がある学生の方、社会人の方に向けた業務紹介、採用案内も行っておりますので、お気軽にお立ち寄りください。			ORG工法 驚異的な貫入力を誇る、油圧可変式超高周波パイプロを搭載した次世代工法。セメントミルク・残土処分不要。工期短縮、コスト低減を実現。（NETIS登録番号：SK-240008-A）。 OHyper栈橋 H700～900桁に代わる新世代型仮橋桁。支持杭間隔10m～13mの中支間において、『早い（75日～）・安い（79千円／㎡～）・丁度良い』を実現。（NETIS登録番号：KT-170092-A）。 OM-craft 重仮設BIMシステム『M-craft』によるモデル作成サービスを展開。ニーズに応じた高品質のBIM／CIMモデルを迅速納品。			国土防災技術は土と水と緑の技術で社会に貢献する建設コンサルタントです。高品質コア採取技術・QSPボーリング工法および集水井内展開写真撮影・3Dモデル作成技術をご紹介します。 サンスイ・ナビコは斜面に関する防災・復旧・緑化の各ステージに必要な土木資材を、開発・製造・販売する斜面の専門会社です。Fixr（フィクス）グラウンドアンカー工法および仮設ECOバインド工法を紹介します。		
積水化学工業			奥村組			人・夢・技術グループ		
土木・インフラ向け時短製品群			施工影響XRウォッチャーおよび木造ハイブリッド建築の紹介			人が夢を持って暮らせる社会の創造に技術で貢献する		
積水化学の土木・インフラ向け時短製品群をご紹介します。鋼材の局所補修に適した「メタモルシート」、下地確認が容易な「高透明高耐久シート」、巻くだけでガスパイプを保護できる「ガス管防護材」、雨上がりなど湿潤環境下でも施工性向上に貢献する「湿潤接着技術」を展示します。また、防災・減災分野では、水害から人や構造物を守る「ブラバリア」もご紹介します。維持管理や補修・保護における省力化・省施工化に貢献する技術・製品を、実物展示や施工イメージを通じて分かりやすくご覧いただけます。			①令和7年度インフラDX大賞を受賞した「施工影響XRウォッチャー」について、地盤改良工事の進捗と周辺地盤への影響をXR技術で3次元可視化する仕組みを、iPad実機を用いて紹介します。 ②ESG／SDGsへの取り組みの一端として木造ハイブリッド構造（木造とRC造の混構造）を採用した自社社員寮について紹介します。 ③山岳トンネルのインパート補強工事において、渋滞等の道路状況に左右されず施工可能な補強技術である「プレキャストインパートブロック」をご紹介します。			人・夢・技術グループは、国土強靱化、環境・新エネルギー、地域創生、海外連携・新領域を事業領域とする企業グループです。橋梁・道路・鉄道・防災・まちづくり・ICT／IoTなど、地盤から宇宙まで幅広いインフラサービスで社会を支えています。 “人が夢をもって暮らせる持続可能な社会。の創造に向けて、基幹事業の再強化を始め、災害支援への対応力強化、スマートシティ・空飛ぶクルマ等新領域での事業推進を通じて社会に貢献して参ります。また今期から、ブラーディングアクションを通じてグループの個性と存在意義を見える化する取り組みを行っています。 展示会当日は、グループ各社のデジタル技術を活用した取り組みをご紹介します。		
新潟県（Made in 新潟） グリーン産業／第一建設工業／吉田建設			フジモリ産業			オールライナー協会関東支部		
Made in 新潟 新技術普及・活用促進制度			山岳トンネル向けICT機器・システムおよび、保守サービス			老朽化した排水管を蘇らせる技術（材料、硬化サンプル）の紹介		
新潟県は豪雪や大河といった厳しい自然に対峙しながら数多くの大規模土木事業を成し遂げてきたことから「土王国新潟」と称され、その実績を支えた県内建設関連企業には、卓越した知見と現場力が今も受け継がれています。 新潟県では、こうした県内企業が生み出した優れた新技術を「Made in 新潟」として認定・登録し全国へ発信しています。 当日ブースでは174の登録技術の中から、在来植物による飛砂防止緑化工法「はまどりマット」、任意深度定着型仮締切り工法「D-flip 工法」、一体化したRC構造による水路補強工法「SP ガード工法」の3技術を展示します。いずれも多数の現場で実績を持つ新潟発の新技術です。			当社のICT注入機「fair-mini」と専用注入材「AGSR-FI」は、裏込め施工の品質と効率を大幅に向上させるシステムです。 「fair-mini」は小型高性能で、タブレット遠隔操作と注入量・圧力の自動制御に対応し、施工データの可視化・保存や帳票自動生成により事務負担を軽減します。 「AGSR-FI」は10～50倍の発泡倍率を選択可能な独立気泡ウレタン材で、高い止水性と確実な充填を実現し、早期強度発現にも優れます。自社開発により柔軟なカスタマイズと一貫サポートも提供します。			公共下水道、工場、高速道路、農業用水施設などの排水管は経年劣化による老朽化が進んでいます。しかし、周辺環境や立地条件によっては、掘削して新設管へ交換することが難しいケースも少なくありません。こうした課題を解決するのが「管きょ更生工法」です。 非開削で施工できるため、交通規制や住民生活への影響を最小限に抑え、最短6時間で供用を再開できます。また、工期短縮やコスト削減にも貢献し、発注者・施工者双方の負担を軽減します。更生後の管路は新設管と同等の強度を有し、耐用年数の大幅な延伸が可能です。 さらに、認定工場制度（Ⅱ類資器材）に登録されており、高い品質と信頼性を備えた「非開削」の管路「更生」技術として期待されています。		
なおしタル工法研究会			フジタ			鹿島		
なおしタル工法			防災・減災、CIMソリューションをご紹介します			鹿島が描く、月面社会の未来図ールナグラス×A4CSEL for Space		
2014年9月に「コンクリート構造物をより永く、強く、安全に」をコンセプトに、様々な場面で補修工法を提供していく為の工法研究会を目指して、「なおしタル工法研究会」を発足しました。高チクソトロピー性を有する厚付け可能な断面修復モルタル材を使用した工法です。			当社ブースでは、頻発する自然災害に対応する防災・減災のソリューションとして、SAR衛星による広域被害把握技術についてご紹介いたします。ほかにもさまざまな独自技術・実績をパネルにて展示いたします。 あわせてCIMを活用した建設プロセス全体の生産性向上推進の取り組みを、フェーズごとにパネルにてご紹介するほか、VRゴーグルなどを装着して実際のCIMソリューションをご体感いただけるコーナーも設置しており、ご来場の皆さまにわかりやすくご説明いたします。			月面人工重力居住施設構想「ルナグラス」を中心に、宇宙時代の建設技術の可能性を紹介します。 月面での居住や施工を実現するために必要な遠隔化、自動化、デジタル連携といった技術は、地上の建設現場が抱える生産性向上や省人化の課題解決にもつながります。 展示では、自動化施工システム「A4CSEL」による施工・維持管理の高度化事例とあわせて紹介し、宇宙技術と建設DXが相互に発展する未来像を提案します。		
レフィクシア			ライト工業			ソーキ		
【LRTK】でスマホがcm精度の万能測量機に！ 点群スキャンやAR、座標誘導も！			ライト工業の「斜面对策・地盤改良技術」			計測データクラウド管理システム ソーキクラウド		
高精度GPS端末「LRTK」はスマートフォンやタブレットに装着するだけで、cm精度測位から3D点群スキャン、位置ずれしないARや座標誘導など、多彩な機能をスマホ1台で完結できます。 撮影時には位置・方位を高精度記録し、クラウド管理・共有が可能。CLAS対応でネット圏外でも測位可能です。点群からオルソ画像を生成し、自動でDXF・DWGの図面作成まで出来ます。 土木・建設からインフラ管理まで幅広い分野で活用でき、現場の作業効率化に貢献する次世代測位デバイス「LRTK」です。			当社は、斜面对策工事・地盤改良工事など「特殊土工工事」のパイオニアとして、国土の防災やインフラ整備を通じて社会に大きく貢献してきました。 今回、斜面对策技術として、二重管施工対応型リモートスカイドリルやモルタル吹付工におけるクラック抑制剤アルベウム、地盤改良技術として、適用範囲を拡大したRASコラム工法BOSTタイプなど多数ご紹介致します。 永年蓄積した豊富な経験と確かな技術のもと、様々な社会的課題の解決を通じて社会に貢献していくことを変わらない使命として認識し、新技術の開発や新しい事業領域へ挑戦し、新たな価値創造とこれからも人々が安心できる強く豊かな国土形成に尽力してまいります。			さまざまな環境の計測データを一元管理し、現場の「今」をLINEやメールでリアルタイムに手元へ配信！ 「ソーキクラウド」は、気象、騒音・振動、熱中症指標、水位などの多様な現場計測データをクラウド上で一元管理できる、クラウド監視システムです。国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」にも登録されています（登録番号：CG-240008-A）。		
KB-eye			川崎地質			建設物価調査会		
建設現場の誘導員不足を解決！ KB-eyeのAI警備システム			AI等DX技術を活用した空洞調査等のメンテナンス技術を展示			CAD部品データ提供サイト「i-部品Get」		
KB-eye株式会社は、日本初のAIを活用した交通誘導警備システム「KB-eye」を開発・提供しています。本展示会では、片側交互通行の現場において、AIが交通状況をリアルタイムで把握し、最適なタイミングで誘導を行う「KB-eye for 交通制御」や、AIが車両等を検知し、車線規制／車両出入口等のあらゆるシーンでの交通誘導を自動化する「KB-eye for 交通誘導警備」など、各種製品をご紹介します。 建設現場における「誘導員不足」「熱中症リスク」「受傷事故の発生」などの深刻な課題を解決し、誘導員の省人化／現場の安全性向上／生産性向上を実現するプロセスを事例を交えてご提案します。			湾岸壁や河川護岸を対象とした自動空洞探査システムは、計測から解析までを自動化した新しい地中レーザ技術です。自動走行ローバーに地中レーザを搭載し、設定した測線に沿った準自動計測を行うとともに、取得した探査画像をAIで解析することで、空洞反応を高精度かつ効率的に評価します。 さらに、車載式地中レーダとAIを組み合わせたモニタリング型空洞調査システムにより、時系列データから空洞の変化を自動検出・評価し、下水道などインフラの維持管理における迅速な意思決定と安全性向上に貢献します。			「i-部品Get」は、土木関連のCAD部品データを提供するWebサイトです。 「コンクリート製品」「道路用製品」「橋梁関連製品」を中心に、メーカー各社の2・3次元CADデータ（DWG、DXF、RFA、IFCに対応）を約400社以上約1350製品公開しており、データをダウンロードし図面・モデル作成の効率化等にご活用いただけます。また、製品紹介なども閲覧できます。 メーカー各社様のご協賛で運営しており、会員登録していただくだけで、無料でご利用いただけます。		
NCBドレーン協会			ゼンリン			マルハン／丸一鋼管／SDAT		
実績2500件超、圧密促進でNo.1の経済性に優れた地盤改良			ゼンリン建設ソリューション			次世代インフラを支える技術と提案		
NCBドレーン工法は、圧密促進工に属します。改良しようとする地盤内に、プレファブリケイティッドバーチカルドレーン（PVD工）の一種である「キャッスルボードドレーン」を等間隔に打設し、その上に盛土で荷重をかけると、軟弱地盤内に過剰間隙水圧が発生します。 過剰間隙水圧をもった水は、打設されたキャッスルボードドレーン表面から流入し、ドレーン内に垂直に設けられている溝を通して上昇し排水管であるサンドマトを通して外部に排出されます。その結果、軟弱地盤の圧密が促進され、強度が増進されます。 昭和40年頃から港湾建設事業等に広く採用され、数多くの施工実績からその高い品質と優れた施工性が証明されております。			ゼンリンは建設ソリューションとして、建設・都市開発のシミュレーションおよびBIM・CIM業務に活用できる「3D地図データ」、ゼンリン保有データや業務支援機能を組み合わせ利用できるクラウドサービス「ZENRI N Maps Studio」、AI道路維持管理サービス「Road Manager」、建設業向けオンライン地図サービス「ZENRIN GIS パッケージ建設」をご紹介します。 設計、施工管理、資材手配、ヤード・用地確保、搬入計画、近隣調整、道路維持管理など、建設現場で発生する多様な業務課題に対し、地理空間情報とデータ活用により、業務の効率化・高度化を実現する具体的なソリューションをご提案します。			マルハン：道路照明柱や標識柱などの基礎工事において、埋設物が幅横する狭い施工環境に対応。コンクリート基礎に代わるフランジ一体型鋼管杭により効率的かつ省スペースな基礎施工を実現します。 丸一鋼管：人と環境にやさしいボールで豊かな街作りに貢献します。鋼管のスピニング加工技術や開口部のプレス加工技術など溶接構造を減らした商品を提案。CO2の削減に貢献し、環境負荷を低減します。 SDAT：軽量・高耐食・長寿命を実現した道路用・公園照明用アルミボールをご紹介します。維持管理の省力化とライフサイクルコスト低減に貢献する製品をご提案します。		
大日本土木			横河ブリッジ／日軽エンジニアリング			ダイヤテックス		
遮音材「RSSシート」			橋梁維持管理・予防保全製品 アルミ合金製常設足場cusa			現場火災のリスク低減に役立！ 燃えにくい難燃テープ		
RSSシートは、工事現場の仮囲いに使用する万能鋼板へ、マグネットで簡単に取り付けられる遮音シートです。自動車用安全ガラスの中間膜に使用される樹脂をリサイクルした樹脂シートとマグネットシートで構成され、環境に配慮しています。 工具を使わずマグネットで容易に着脱でき、繰り返し使用できるため、現場の状況に応じた防音対策が可能です。 万能鋼板のみの場合と比べて4～10dBの騒音低減効果があり、建設現場での卓越周波数500～1000Hz付近で高い効果を発揮するとともに250Hz以下の比較的低い周波数帯でも、高い遮音効果を発揮します。			橋梁の「劣化」や、5年に一度の橋梁点検や補修のたびに発生する「関係機関との協議」にお悩みではありませんか？ 本展では、「アルミ合金製常設足場・キュウサ/cusa」の実機モデル展示を行います。キュウサを設置すれば点検時の協議が軽減され、足場内で面的な近接目視点検が可能です。歩廊面はフラットで台車による資機材運搬も容易なため、補修作業の足場としても活躍します。 また、桁全体を覆うことで飛来塩分等の侵入を防ぎ、防食対策（フッ素塗装）の代替として長期的な修繕費用を縮減。コンクリート剥落等の第三者被害の防止にも寄与します。 予算課題の解消と予防保全を実現する「最適解」をぜひ会場でご体感ください。			橋梁や高速道路の補修工事等火災の危険性がある作業現場では、防災・不燃性のシートが使用されています。しかしそれを一般的な布テープや養生テープで固定すると、火種がテープに飛び移った場合に導火線となり、防災シートも延焼する恐れがあります。 過去の現場火災の教訓から粘着テープも燃えにくい仕様が求められ、開発したのが「難燃テープ FR-10-WH」です。 自己消火性があり燃えにくく（ノンハロゲン系難燃剤使用）、手で切れるため作業性も良好です。 防災シートだけではなく本製品を使用することにより、現場火災の要因を減らすことが可能です。		

(15) 2026年(令和8年)10月16日(金曜日)			日刊建設工業新聞			(第3種郵便物認可)		
C-XROSS 2026 Construction Xross 2026								
太啓建設			高周波熱線			イマギレ		
『コンクリート湿潤・保温養生シート 潤王(うるおう)』			プレグラウトPC鋼棒、NAPPユニット、ダブルスタークなど			環境リサイクル機械 ～レンタル・販売・修理いたします～		
「潤王(うるおう)」は、吸水性不織布とフィルム加工エアセルマットをジグザグ縫製により一体化させたコンクリート養生シートである。養生面(水平・鉛直兼用)に敷設することで、散水後のコンクリートの湿潤・保温養生効果の長期保持が可能となる。 【製品仕様】幅1.2m(不織布面1.1m)×長さ20mロール、3.5kg/本。 【特徴】水分滞留効果による湿潤性長期保持。 【優位性】①水和反応促進による品質向上効果②軽量化による運搬・敷設手間の省力化③コスト削減化④散水回数低減による環境負荷低減効果。			IH(誘導加熱)で熱処理した線材は高強度、高靱性、高直線性などの性質をもっています。製品は土木・建築・自動車産業などの各分野で広く使用されています。 ・ダブルスターク―世界初!一本の鉄筋に二つの強度を併せ持つ「部分高強度鉄筋」従来工法比で鉄筋重量を大きく低減し、且つコストダウンが可能となります。 ・ウルボン1275―従来工法比で鉄筋重量を大きく低減し、且つコストダウンが可能になります。 ・プレグラウトPC鋼棒―現場でのシース配置、グラウト作業が不要となります。 ・NAPPユニット―施工現場での緊張管理が不要。最大緊張力60tのプレテンション材。現場省力化、施工の簡略化、施工の正確性、工数削減が可能になります。			イマギレは、建設機械・環境リサイクル機械・ICT機器・微細水ミスト噴霧器などの幅広い商品をレンタルしております。 特に、環境リサイクル機械のラインナップ・保有台数(200台以上)は業界トップクラスを誇り、知識・経験豊富なスタッフがお客様の現場に合わせた最適な現場環境ソリューションを提案致します。また、専門整備士を多く配備し高品質な整備が施された機械を提供し、万一のトラブル時も全国を対象として迅速に対応致します。 イマギレは感謝の気持ちを行動の原点とし、経済合理性のあるレンタルというサービスを通して豊かで明るい未来の実現を目指します。		
SRCF工法研究会			KANSOテクノス			ヒロセホールディングス		
SRCF工法			地球・社会・暮らしの『緑の下エンジニアリング』			忙しすぎる貴方へ～任せて安心 現場直結型支援～		
炭素繊維を用いた耐震補強工法の一つ。CFアンカーを用いて端部定着することで閉鎖型でなくても建物に定着が可能。それにより柱・梁・耐震壁の耐震補強が可能。一般社団法人日本建築防災協会の技術評価を取得している。一般社団法人土木研究センターの建設技術審査証明報告書も取得。土木分野におけるRC構造物での耐震補強工事でも実績多数。			当社は「豊かな地域社会の実現とかけがえのない地球環境の保全に貢献しつづける」ことを使命として、事業活動を展開してまいりました。事業の3本柱である「環境」、「土木」、「建築」の分野において、独自の技術・ノウハウを発展させ、特化した業務を含めた総合的なサービスをお客さまに提供いたします。 【海洋環境モニタリング】カーボンニュートラルの実現に寄与 【水路点検サービス】デジタル技術を融合し見えない課題を見える化 【くずよけウイング】しつこく絡まる「くず」に取付簡単な対策 【音響トモグラフィ】音波を使って地盤を可視化			生産性向上や工程削減を目指したいものの、日々の業務に追われ「安全や品質向上に取り組む時間が足りない」とお悩みの貴方へ。その課題、ヒロセグループにお任せください! ヒロセグループは、重仮設事業や補強土事業をはじめ、地下工事やタワー・クレーン事業など、幅広く社会基盤の構築を支える専門工事会社グループです。本展示会では、現場を支える設計やシステムのプロフェッショナルもご紹介します。 長年培った現場力と技術力を集結し、忙しい貴方のお悩みをグループの総合力で解決します。		
NEXCO東日本グループ			日特建設			東興ジオテック		
安全・安心・快適・便利な高速道路サービス			見えないところにこそ、私たちのプライドがある			【世界初】大型有線給電ドローンによる植生基材吹付工「グリーンインパルス」		
快適でやさしい、人のための移動空間であること。便利で確かな、物流のためのネットワークを支えること。どちらも、NEXCO東日本にとって大切なテーマです。 そのために何ができるかを、いつも考えながら、皆様に『ベスト・ウェイ＝最良の選択・最高の道』をお届けできるよう、私たちはこれからも全力で走りつづけたいと思います。			日特建設は、1947年(昭和22年)、ダムの基礎処理を創業工種として始まり80年近くにわたり、環境防災、維持補修、都市再生分野の専門工事に特化した地質に強い施工会社として評価をいただいております。 昨今、日本では地震や台風・豪雨などによる甚大な災害が頻発しており、建設業界には減災および国土強靱化への対応が求められています。また、地球規模で見ても喫緊の課題が山積しています。 これらの様々な社会課題の解決に貢献しながら、安定的に成長を続けられる組織体制を確立するため、各事業での収益性向上、人材の確保と育成、社会からの信用・信頼の獲得、新分野への挑戦に取り組んでまいります。			東興ジオテック(株)とエアロセンス(株)が共同開発した「グリーンインパルス」は、大型有線給電ドローンを活用した植生基材吹付工法です。有線給電により長時間の飛行を可能にし、重機を使わずに高所での施工を実現します。 ドローンによる種子や肥料などを混合した人工土壌を吹き付ける植生基材吹付工法は前例がなく、施工現場における世界初の取り組み(※1)となります。 本工法の導入により、法面施工における作業員の安全性向上に加え、深刻化する労働力不足への対応、施工可能範囲の拡大、作業の大幅な効率化および省人化が期待されます。 (※1) 東興ジオテック調べ		
技研製作所			Pix4D			DataLabs		
国土強靱化を支える圧入技術とICTソリューション			スマホ3D点群測量「PIX4Dcatch」			3Dインフラ補修工検査システム「Hatsuly」		
防災・減災対策や災害復旧において求められる迅速性や安全性の向上に向け、圧入技術の進化とICTを活用した取り組みを紹介します。 無振動・無騒音施工、省スペース施工、仮設レスによる短工期施工などを特長とする圧入工法に加え、施工データの活用による杭施工状況の可視化、サイレントパイラーの遠隔操作技術、自動運転化に向けた先進的な取り組みを展示します。 自然災害の激甚化や建設業界の担い手不足といった社会課題に対応し、省力化や施工管理の高度化を通じて、防災・減災対策やインフラ整備の新たな可能性をご提案します。			PIX4Dcatchはスマホなどのモバイル端末で簡単にできる、3D点群スキャンのソリューションです。スマホにRTKアンテナを装着することで、数cm精度の絶対座標を持った点群が生成できます。 起工測量、出来形計測、日々の進捗モニタリングまで、幅広い用途で使用できます。スマホで取得した点群から、座標や面積、体積の計測ができるほか、点群をエクスポートして出来形管理にも使用できます。 ISO等のセキュリティ認証を取得済みで、データの安全性も万全。注目の「ガウシアンブラッキング」も加わり、圧倒的なリアルティでの3D再現も実現しました。			100現場以上で導入実績のある「Hatsuly」は、橋梁補修工事における、調査や表面被覆工や剥落防止工の出来形検査、断面修復工における出来形検査など、インフラ補修における検測を効率化するシステムです。 さらに、3D配筋検査システム「Modely」、3Dインフラ点検システム「Markly」、そして新たに自動3Dモデリングプラットフォーム「Framy」をラインアップ。現場のデジタル化・省力化を支援する各種ソリューションをご紹介します。		
三共			日本認証			サンウェル		
新型システムつり足場 TOBISLIDE／トビスライド			建設現場の安全を支える人づくりのための安全マネジメント資格			エンジニア不足でお困りではありませんか？		
老朽化した橋梁補修の現場から、危険と軀体への負担を減らしたい。その想いから生まれたのが、軽さと高い安全性に加え、仕舞工事でシステム化した業界唯一の新型つり足場「トビスライド」。 耐荷重220kg/㎡(強化チェーン仕様)を備え、作業性の向上と足場工期の短縮を実現する次世代システムつり足場です。当日は実際に製品を展示し、施工手順や安全性を間近でご確認いただけます。			職場のウェルビーイング向上には「人づくり」が欠かせません。安全確保を「守らなければならない義務」から「働く人を守る価値」へと転換しましょう。 建設セーフティオフィサ(SO-C) 資格認証制度は、経営層・管理者層・工事現場の指揮監督者層を対象に、安全に関する知識と理解を認証する人材育成制度です。 災害を未然に防ぐには、設計から施工まで一貫したリスクマネジメントが不可欠です。リスクを正しく理解し、設備を適切に運用できる人材を育てることで、安全・安心な職場環境を実現し、ウェルビーイングの向上に貢献します。			深刻化するエンジニア不足を背景に、高度外国籍エンジニアを中心とした人材ソリューションを提供しています。 海外拠点と独自の採用ネットワークを活かし、日本語力・技術力を兼ね備えた即戦力エンジニアをご紹介します。ビザ申請、来日支援、住居手配、就業後の生活サポートまでワンストップで対応しているため、外国籍エンジニアの採用が初めての企業様にも安心してご利用いただけます。 「外国籍エンジニアの採用に興味はあるが、何から始めればよいかわからない」「即戦力となる技術者を採用したい」とお考えの企業様へ。ブースでは採用事例やエンジニアの経歴書サンプルをご紹介しますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。		
ベストテクニカルサービス			応用地質			協和製作所		
総合気象GISプラットフォーム「Amatellus」			◆地盤の可視化・モニタリング◆ハザードマッピングセンサ			無人操作、無動力作動方式の水門・樋門用自動ゲート設備		
【現場の詳細な天気予報をリアルタイムに表示】Amatellusは変化し続けている気象情報を最短5分更新で、地図上にわかりやすく表示し現場ごとの天気を把握することで作業効率アップやコスト削減につながる。最大3日間先までの気象予測を見ることで工事実施判断、施工計画が立てやすくなる。手配の無駄を防ぐことができ、無駄なコストを削減することができ。 【拠点を複数登録し一元管理、アラート設定が可能】地図上に様々な拠点を登録することで各現場の気象情報をPCまたは携帯で確認出来、現場の監視エリア内の気象変化をアラートとして自動メール配信。何らかの気象リスクが発生した場合、直ちに対応することで安全管理に役立つ。			◆ハザードマッピングセンサ：広域化・頻発化する自然災害や人手不足、インフラ老朽化の進行などに対し、DX技術による多点・面的なリアルタイム監視を実現することで、法面監視・対策にかかる時間やコストを削減することを可能にしたモニタリングシステムです。 ◆地盤の可視化・モニタリング：交通や経済活動によって生じる微弱な振動の測定により、地盤の硬さと相関のあるS波速度の分布を把握し、3次元で地中の地質構造を推定する「3次元常時微動トモグラフィ」の技術が確立しました。そしてさらに連続測定を可能とすることで、地下工事中の地盤の硬さの変化をDX技術によりリアルタイムに監視できるシステムを開発しました。			『オートフラップゲート』及び『オートフラップゲート・L型』は、河川や海岸の水門・樋門に適用できる無動力無人操作方式の自動ゲート設備です。 大雨や台風による河川の増水、あるいは高潮・高波、津波発生に対し、管理者の操作を必要とせず、また停電による動力制御電源の喪失に関係なく、的確に開閉作動し、確実な自動止水と円滑な自動排水を行うことができます。 『下ヒンジ式』と『上ヒンジ式』それぞれの特性を活かし、設置条件や用途に応じた安全で効果的な自動ゲートの実現に向け、技術開発を進めています。		
文化財石垣・石積擁壁補強技術協会			地盤注入開発機構			ガイアート		
石積擁壁耐震補強対策工法			長期耐久性と信頼性を追求する地盤注入技術			セルフ予防保全でインフラを守る「ニンジャシール」		
近年、激甚化する豪雨や大規模地震の発生リスクが高まり、壁体の一体性が損なわれた擁壁は、経年劣化により崩壊リスクが増大することが懸念される。 高度成長期に集中的に整備された宅地擁壁の多くは耐用年数を迎えつつあり、孕み出しやクラック等の変状について、早期に補強を行うことが重要である。また、文化的・学術的価値を有する石積擁壁については、その景観や構造的特徴を後世へ継承しながら安全性を確保することが求められている。 本工法は既存石積擁壁の景観を損なうことなく補強でき、疑似擁壁化による補強効果で、補強材を短尺化できるため、敷地を越境せず、擁壁上部の建造物の基礎や杭にも干渉せず補強することが可能である。			長期耐久性を実現する地盤注入技術をご紹介します。地盤注入開発機構では、薬液注入分野5協会の技術を結集し、液状化対策、耐震補強、止水・地盤改良など幅広い分野で活用される注入材・注入工法を展示します。「環境・耐久・浸透」をコンセプトとした最新技術や施工事例、技術資料を通じて、インフラの長寿命化、防災・減災、環境負荷の低減によるGXの推進に貢献するソリューションをご提案します。			ニンジャシールは、コンクリート舗装の目地部分の角かけ、ひびわれ、段差、水の侵入を解決します。伸び率300%(JISA 6021)のソフトな素材で様々な衝撃をしなやかに受け止める「忍者」のような補修材です。 角かけ補修に加え、ひび割れ充填や面的塗布が可能な2液混合常温硬化型ポリウレア樹脂材料です。(1：1混合)1缶に必要な材料がすべて入ったキットとなっています。熟練者でなくとも取り扱いやすい製品で重機不要です。火を使わないため、火災や火傷によるリスクを軽減できます。 ソフトでしなやかな物性により、衝撃を吸収するため既設舗装を傷めず、万が一ちぎれて飛散しても大きな事故につながる可能性は少ないです。		
熊谷組			タグチ工業			東急建設		
令和6年能登半島地震国道249号啓開作業その2工事技術の紹介			土木現場・恒久設備を支える搬送設備・遠隔監視システム			生産性向上、品質確保、CO ₂ 削減に寄与する技術		
無人化施工技術は、遠隔地から無線通信技術を利用し、遠隔操作式建設機械を用いて施工する技術の総称です。主に自然災害被災地の危険性が高い施工現場より、離れて設置した操作室で遠隔操作し、オペレータの安全を確保する施工方法です。 能登半島地震国道249号啓開作業では、ネットワーク対応型無人化施工システム、AI制御による不整地運搬車の自動走行技術を導入し、初の夜間施工で土砂運搬作業の効率化を図りました。無人化施工VR技術は、遠隔操作でありながら実際に搭乗した体感に近い環境で操作できる技術です。 その他、コッター式継手でプレキャストPC床版を急速施工する、橋梁用「コッター床版工法」を出展します。			当社は、主にトンネル・ダムなど仮設工事で活用される搬送設備を扱っております。出展ブースでは、連続ベルトコンベヤ、インクライン、リフト等を模型や映像を用いて紹介し、現場条件に応じた搬送方法や、省力化・安全性・工期短縮への効果を解説します。 また、設備の稼働状況をリアルタイムで確認できる遠隔管理システムを、iPadとモニターで実演。さらに、仮設工事だけでなく新規開発の恒久設備も紹介します。完成後も継続して使用される設備への展開を通じて幅広いニーズに対応いたします。 ●模型・映像・操作体験を通じて、搬送設備とICTを組み合わせた現場の可視化や安定稼働、当社の設計・提案力を体感いただける展示となっております。			「TAP-ONEジョイント」は、道路橋PCa床版ジョイント部の鉄筋組立やコンクリートの締固め作業を省略し、施工の効率化を図る接合法です。「締固め管理センサ」は、生コンの締固め作業において棒状バイブレータの挿入深さと振動時間を「見える化」し、コンクリートの品質向上を図ります。 「ハイレログラクリート」は、CO ₂ 排出量を削減するとともに、施工の省力化を実現できる次世代コンクリートです。「トコミドリ」は、東急建設のグリーンインフラのブランドで、自然の力を活用して都市の課題を解決する「みず」と「みどり」と「いきもの」の技術の総称です。		
西日本高速道路エンジニアリング四国			キヤノンマーケティングジャパン			日本CLT協会		
JシステムEvolution・RTチェッカー他			「8掛け社会」の課題を解決する、キャノンの映像技術をご紹介します			土木×CLT 土木の新しい選択肢		
当社は四国的高速道路の点検から補修までを一連で行っています。 「JシステムEvolution」は赤外線カメラを用いた橋梁点検システムで、第9回インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞しました。可視画像と熱画像を同時に撮影できるビルトインタイプを展示します。 「冬用タイヤ自動判別システム」は画像により冬タイヤを判別します。NETIS 令和8年度推奨技術に選ばれました。 「RTチェッカー」は引張試験と画像解析で樹木の耐風速を推定します。「Smart-EAGLE type-P」はひび割れ・わだち・IRIの三要素の計測ができる車両です。 「Smart-EAGLE type-T」はトンネル覆工の3次元形状計測が可能です。			2040年頃に日本の生産労働人口が現在の約8割まで減少する「8掛け社会」が予測されています。建設・土木・インフラ業界も人手不足、業務効率化、品質の維持がこれまで以上に重要な課題となります。 弊社ブースでは、8掛け社会における課題解決に貢献する最新の「映像ソリューション」をご紹介します。 ●AI映像解析によるインフラ点検の効率化 ●暗所でも鮮明な映像を実現する超高感度カメラ ●AIカメラが見守るセルフセキュリティソリューション ●資材管理の省力化を支援するIoT重量計 デモも交え、各種ソリューションをご紹介します。建設現場を支える「映像×AI」の最前線をキャノンブースでご体感ください。			CLT(直交集成板)の実物やCLTプラットホームの一部を展示し、実際に触れながら厚み・軽さ・強さを体感いただけます。また、実証事業などで蓄積したデータや知見をガイドブック・パネルで紹介し、耐久性や性能など、CLTの土木利用における合理性を紹介いたします。そして、なぜ今、CLTなのか、その特長やメリットとともに、土木分野における新たな選択肢としての可能性をご提案します。		

ともに創る建設の未来。



建設環境研究所 D-50 環境関連やIT・AI・ドローンなどの最新技術とサービス	J R東日本コンサルタンツ D-51 鉄道で培った知見を活かし、技術と創造で新たな価値を創造します J R東日本コンサルタンツは、培ってきた技術と知見を活かし、社会や地域の課題解決に取り組んでいます。新たな価値の創造を通じて、より豊かで安心して暮らせる社会の実現を目指し、果敢に挑戦する総合コンサルタントとして、調査・計画、設計、メンテナンス、情報ソリューションなど幅広い事業を展開しています。 展示会では、土木設計、メンテナンス技術とDXの融合にフォーカスした弊社技術の一部を展示します。 「線路近接工事における鉄道構造物の影響判定」「ReMoSysを用いた常時微動による構造物モニタリング」「新たなWebGIS Ralavis」「新たなデジタルツインプラットフォームTRANCITY Nebula」	三谷産業 D-52 「人から自動バキュームプラストロボット工法へ切替」のご提案 三谷産業は、鋼桁・タンク・鋼構造物・プラント設備等を対象としたバキュームプラストロボット工法を提案します。ロボット施工によりプラスト材を高効率に回収しながら粉塵や有害物質の飛散を抑制することで、広範囲の平面部を均一な素地調整品質と高い施工効率を実現します。 鋼桁、タンク、煙突など幅広い構造物に対応し、PCB含有塗膜除去や原子力発電施設の解体撤去工事でも豊富な施工実績を有しています。さらに、自動走行技術や各種専用治具を活用することで、施工品質の均一化、省人化、工程短縮を実現し、維持管理コストの低減とインフラメンテナンスの高度化に貢献します。
旭テクノロジー D-53 ドローンを活用した、点検・測量・物資運搬・UTサービス 旭テクノロジーは、プラント・再生可能エネルギー・ドローンの3事業で培った現場力を活かし、ドローンを活用した各種測量・インフラ点検・重量物の物資運搬等のサービスを提供しています。ELIOS 3による下水道・暗渠・屋内設備の点検・UT、水中ドローンによる港湾・河川等の水中調査、DJI機によるインフラ施設の3次元計測・3D点群取得など、点検業務受託から機体導入、国家資格取得、内製化支援まで、ドローンを活用した安全性向上と業務効率化の支援を行っています。 出展機体：ELIOS 3 UT検査ペイロード、FIFISH E-MASTER NAVI、DJI Matrice 400、DJI Dock 3（予定）。	きもと D-54 3DGSを用いた3D空間作成サービス「SPLAT TWIN」 「写真測量×デジタルツイン」の発想から生まれた、3Dを全ての「現場で使える形」に変えるソリューションです。写真から高精細な3D空間データを作成し、現場の雰囲気やニュアンスまでも含めてリアルに再現します。 建設・製造・インフラ・文化財など幅広い分野で活用いただけます。 「SPLAT TWIN」は、3DGS計測、3DGSデータ作成、3DGSコンテンツ作成など、3DGSの導入から活用までを支援するKIMOTOの3DGSトータルサービスです。	SUPERJET研究会／X-JET協会 D-55 地震対策工事の切り札—SUPERJET工法・X-JET工法 本工法は開発以来、立坑築造に伴う底盤改良や先行地中梁、シールド工事に伴う坑口防護、地中接合等の仮設工事に適用されてきました。近年では、社会基盤整備や維持修繕事業への適用が増え、耐震補強や液状化対策工事も用いられており、おかげさまで30年以上の実績を重ね、2000件以上の工事実績があります。 SUPERJET工法は、改良径φ2.0m～6.0mのタイプを取り揃えており、高速性と大口径化を図った工法です。X-JET工法は、改良径φ1.5m～2.5mのタイプを取り揃えており、2本の超高压ジェット噴流を一定距離で交差させることで、地盤の硬軟に左右されず一定の改良径が造成できる技術です。
明治商工 D-56 騒音対策商品（移動式防音ゲート／移動式防音フェンス／その他） 当ブースでは、以下の商品を展覧させていただきます。▷土木工事での騒音対策、コンプレッサー・発電機等の騒音音源の仮囲い等で使用する「移動式防音ゲート」「移動式防音フェンス」▷温度変化によるコンクリートのひび割れを防ぐ「保温エコシートダブル」▷消火フィルム内蔵でバッテリー火災の初期消火・セキュリティ・漏電対策ができる「充電ロッカー」の4点になります。よろしくお願いたします。	東亜建設工業 D-57 私たちの今が、社会の未来を創る。 当社は1908年（明治41年）の創業以来、鶴見・川崎臨海工業地帯の造成に始まり、本州四国連絡橋、関西国際空港、中部国際空港、東京国際空港（羽田空港）、東京湾横断道路（アクアライン）など、社会や産業を支える数多くの大規模プロジェクトに携わってきました。 海上土木事業のパイオニアとして培った高い技術力と堅実な経営基盤を強みに、社会インフラの整備と発展に貢献しています。 「高い技術をもって、社会の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」という社是のもと、「人」と「技術」を礎に、持続可能な社会の実現と未来の創造に挑戦し続けています。	日本電業工作 D-58 建設現場の通信を光で見える化するNyanConnect NyanConnectは、発光アンテナでネットワーク状態を見える化する無線LANアクセスポイントです。通信状態を発光色で直感的に把握でき、メッシュ通信によるエリア拡張やIEC62443準拠の産業向けセキュリティにも対応。これらの機能を1BOXに集約し小型・軽量化を実現しました。建設・土木現場など、レイアウトや機材の位置が変化する環境でも安定した通信環境の構築を支援します。 主な特長 - 発光で通信状態をひと目で把握 - IEC62443準拠の産業セキュリティ - 小型・軽量設計で持ち運びが容易 - 高耐久設計で現場にも最適
福山コンサルタント／インフラ・テック・ソリューションズ D-59 インフラ維持管理の課題を最先端のテクノロジーで解決 インフラ施設の老朽化や豪雨災害の激甚化が進む中、安全かつ効率的に損傷状態を把握することが可能なモニタリング常時監視技術や非破壊検査技術が求められています。 本展示では、こうした課題に対応するソリューションを展覧します。 ①下部工基礎の洗掘モニタリングシステム：固有振動数の変化から、水中部にある基礎の洗掘状況を遠隔・リアルタイムで常時監視 ②中性子塩分計：コンクリート内部の塩分量を完全非破壊で測定 ③高周波衝撃弾性波試験：地中部の構造寸法や損傷を非破壊で高精度に探査 ④道路維持管理システム：道路施設情報、要望・苦情を一元管理 ⑤防災情報管理システム：防災施設情報を一元管理	シーカ・ジャパン D-60 新設工事から保守・補修・改修工事まで対応できる幅広い製品 近年、道路・橋梁や地下構造物・トンネルなど、都市インフラ施設の老朽化や機能低下が深刻な課題となっており、特に安全性の確保に向けた対策が急務となっています。そのため、保守・補修に対するニーズが急速に高まる一方で、将来の長寿命化や維持管理コスト低減を見据えた新設工事においても、より高性能な材料や先進技術の導入が求められています。 シーカ・ジャパン株式会社は、総合化学メーカーとして、新設工事から保守・補修・改修工事まで、あらゆる場面に対応できる幅広い製品ポートフォリオを取り揃え、これらの製品・技術・工法をご紹介し、都市インフラの持続的な発展に貢献するための最新情報をご提供いたします。	東京カートグラフィック D-61 紙管理からのDX化・業務状況一元管理・GISによる効率化支援 当社は「GISのプロとして、お客さまと共に課題を解決し、感動をお届けする」を理念に、官公庁・自治体を中心に事業を展開し、創業以来67期目を迎える企業です。 GISデータ構築とWebGIS開発の実績を活かして、「簡単・便利・使いやすい」をコンセプトに、手書き感覚で使える「らくらくGIS」と、設備管理・現場作業・調査状況を一元管理する「設備管理クラウド」をご提案します。紙管理からのDX化に加え、複数の関係事業者間での情報共有・一元管理により、施工・維持管理、防災・減災、インフラメンテナンスの効率化を支援します。
ニュートロン次世代システム技術研究組合 D-62 壊さずにコンクリート内部を可視化「中性子塩分計RANS-μ」 国土交通大臣賞受賞技術！（第7回インフラメンテナンス大賞） 深刻化する塩害からインフラ構造物を守り、予防保全・長寿命化へ。 次世代の非破壊検査技術「中性子塩分計RANS-μ」を紹介します。 【中性子塩分計RANS-μの特徴】 ①コア抜きによって橋を傷めていたコンクリート内部の塩化物イオン量を、完全非破壊で計測・現場で定量 ②表面塗装など剥がすことなく、補修後も同一箇所の経年調査が可能 ③令和8年8月末まで全国220橋525箇所の点検実績 ④点検支援技術性能カタログの掲載技術、技術番号：BR020032-V0326 インフラ構造物点検の次世代非破壊検査技術の最前線をぜひブースにてご体感ください。	信号器材 D-63 新発想の標識落下防止ソリューション 本展示では、道路標識の安全性向上と維持管理の高度化に貢献する3製品をご紹介します。メインは、ワイパチ株式会社と共同開発した新製品「FSX-2 フォールセーバー（地点点標識用落下防止金具）」で、標識落下事故の未然防止と予防保全に貢献します。 併せて、全国の高速道路で豊富な採用実績を持つ「FSX-1 フォールセーバー大型標識板対応落下防止金具」と、シャチハタ株式会社と開発したボルト締付確認用スタンプ「ボルトラインフレックス」を展示し、道路インフラの安全性向上と維持管理の効率化を実現するトータルソリューションをご提案します。	プレロードシェル工法研究会 D-64 プレロードシェル工法 山岳トンネルにおいて、地山と鋼製支保工の間に袋体（ジャケット）を設置し、無収縮モルタルを圧入することで両者を一体化させます。これにより支保工が確実に機能し、地山の沈下を効果的に抑制します。
ダイナミックレジン工業会／アイカ工業 D-65 橋梁向けはく落防止工法 ダイナミックレジンの橋梁向けはく落防止工法は、コンクリート片の落下リスクを抑制し、インフラの長寿命化に貢献。安全性と耐久性を両立した維持管理ソリューションです。	オリエンタルコンサルタンツホールディングス D-66 DX技術を活用したインフラの調査・設計・維持管理システム OCHDグループ会社が取り組む「DX技術を活用したインフラの調査・設計・維持管理システム」をご紹介します。出展技術：ATK SAMS、点検ドローン、3D都市モデル、BIM／CIM、SOCOCA、SRiM（AI技術を活用した河川管理）、三次元管内図等を活用した事業管理、IMSなど。	精研／地盤凍結工法協会 D-67 地盤凍結工法 地盤凍結工法は、地中に所定の間隔でパイプ（凍結管）を埋設し、土中の間隙水を凍結管中心に年輪状に凍結させ、隣接する凍土柱を連結して強固な遮水壁・耐力壁を作る地盤改良法です。都市部の地下開発が大深度・複雑化するなかでも、凍結管を設置できれば、土質や深度、支障物の有無を問わず、あらゆる環境下で確実な地盤改良を行います。 また、地盤凍結工法を支える専用アンモニア冷凍機は、自然冷媒を使用することで地球温暖化対策に貢献します。高い冷凍能力と優れたCOPを備え、省エネルギー性に優れるとともに、環境負荷の低減にも寄与する冷凍機です。実績と理論に支えられた技術力で、安全な地下インフラの構築に貢献してまいります。
KJS協会／アンカー補修協会／NMアンカー協会 D-68 EHDアンカーHP（ハイパー）工法 「EHDアンカーHP工法」は、2024年2月にNETIS（新技術情報提供システム）に登録された最新のグラウンドアンカー工法です。本工法の最大の特長は、アンカー頭部の見える化を実現するために、グリースを使用しない「グリースレス構造」を採用している点です。 また、定着具には無電解ニッケルメッキを施しており、2000時間に及ぶ塩水噴霧試験においても錆の発生が確認されなかったことから、高い防錆性能が実証されました。これにより、グリースレス構造でも安心して使用でき、定期点検が容易となったことで、維持管理性が飛躍的に向上しています。	日本インシーク D-69 点群×BIM／CIMで実現する3D空間マネジメント 近年の建設・インフラ分野では「DX」（デジタルトランスフォーメーション）の必要性を背景に3D空間マネジメントへの興味が高まっています。プロジェクトが思うように進まない、ICT活用による業務変革が進まない、そんな課題を抱えていますか？ 日本インシークでは、点群データの取得から利活用まで豊富なコンサルティングの実績がございます。 場所や精度など制約条件に合わせた最適な計測手法の提案から始まり、人の目には見えない地下空間や未来をBIM／CIMモデルへ融合させることで、現実空間をデジタル上で可視化・共有し、調査・設計・施工・維持管理における情報の一元化と意思決定の迅速化・業務効率化をご提案いたします。	西武建設 D-70 足場に頼らない時代へ「壁面接触作業ドローン」 高所の点検や補修は、まだ人が足場やロープを用いて行うのが一般的です。西武建設は東京理科大学・建築研究所と共同で、構造物の壁面に接触し、調査から補修まで実施できる「壁面接触作業ドローン」を開発しています。ドリル穿孔による中性化測定や補修作業を可能とし、維持管理の省力化・安全性向上を目指します。建設DXの新たな可能性を切り拓く実機を、ぜひ当ブースでご覧ください。
国際航業 D-70 空間情報で未来に引き継ぐ世界をつくる 国際航業株式会社は、地理空間情報技術のリーディングカンパニーとして、最先端の計測技術と多様なコンサルティング力を有し、建設業界において新たな価値を創出しています。航空機やドローン、ロボット等様々なプラットフォームにより取得された点群データを3次元空間解析し、現場の状況を迅速に可視化・最適化。計画立案からインフラ点検・維持管理、災害対応まで、現場業務の効率化を強力に支援します。 展示では『現場ニーズと技術シーズのマッチング』にて実証した四足歩行ロボットによるダム監査点検の報告と実機を参考展示します。ぜひブースにお立ち寄りいただき、国際航業の先進技術をご体感ください。	ミライト・ワン D-70 ドローンドックを所有から利用へ 月額制ドローンドックサービス 高額な機器的購入が不要な「月額制ドローンドックサービス」です。機器調達、飛行許可申請、遠隔フライト、データ処理まで全工程をお任せいただけます。お客様はフライトを予約し、成果データを受け取るだけです。プラント・インフラの定期点検や造成現場の土量計算、3Dデータ作成などの業務を自動化し、自社での操縦者育成も不要です。大幅な業務効率化と人手不足解消を実現し、現場へ向くコストや時間を大きく圧縮。お客様の現場のスマート化を全面的にサポートします。	JIPテクノサイエンス D-71 専門技術力と経験で未来を創造するプロフェッショナルカンパニー 最先端ICT、IoT、数値シミュレーション技術を活用し、橋梁設計・鋼橋製作から構造解析、維持管理まで、社会インフラのライフサイクル全体を高度に支援します。 橋梁分野では、耐震設計システムJT-KOHKAや、設計システムと連携したBIM／CIMモデリングシステムを通じてICT化を推進しています。構造解析分野では、非線形解析や動的解析などの高度なFEM解析技術を駆使し、電力、鉄道、上下水道、橋梁、地盤構造物など多様なインフラ分野に対応しています。 維持管理分野では、点検支援、データベース化、中長期シミュレーションに加え、道路分野のアセットマネジメントシステムで国内トップシェアの技術力を有しています。
小島組 D-72 浚渫技術とともに歩む、港づくり 小島組は大正8年に創業し、107年にわたり港湾土木事業に携わっています。日本の貿易の99.5%を支える海上輸送のための航路浚渫をはじめ、港湾土木、埋立・揚土、陸上土木まで幅広い施工を手掛け、国内外の港湾整備を通じて社会インフラを支えています。 作業船の全自動運転システムの開発や施工のデジタル化、バイオ燃料の活用、陸上電力供給システムの導入など、環境負荷低減と生産性向上への技術革新を推進しています。文理を問わず多様な人材が活躍できる職場環境や、女性技術職員の活躍推進、若手人材の採用・育成にも力を注いでいます。 豊かな経験と先進技術を融合し、安全で持続可能な港湾づくりを通じて社会に貢献してまいります。	ベスター D-73 業界最速のアスベスト分析 株式会社ベスターではJISA1481-1に準拠したアスベストの定性分析を行っております。弊社分析員は全員が有資格者であり、更にダブルチェックとX線回折装置の利用により高精度な分析結果をご提供しております。 また分析結果の報告は速く、「通常プラン」では2営業日以内でのご報告、最短で即日報告の「超特急プラン」もご用意しております。	銭高組 D-74 脱炭素技術「TUNNEL EYE、CO2 オンサイトDACS」 山岳トンネル工事における当社の脱炭素技術を紹介します。 「TUNNEL EYE」は、トンネル坑内の作業環境を自動計測・分析し、換気ファンなどの設備を最適制御するシステムです。実際の現場導入では、電力由来のCO2を約24%削減することに成功しました。 「CO2 オンサイトDACS」は、トンネル内で発生するCO2を直接回収し利用する技術です。重機や工事車両の排ガスからCO2を分離回収し、人工石灰石として吹付コンクリートの材料に利用します。 この二つの技術を連動させることで、電力由来と燃料由来のCO2削減を同時に実現します。当社はこれらの技術を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

C-XROSS 2026

Construction Xross 2026

ともに創る建設の未来。

大日コンサルタント D-75 3次元計測活用による建設DXソリューション 当社は、3次元計測技術を活用し、建設現場におけるさまざまな課題の解決を支援します。施工現場の地形や構造物、建物など、変化する現場を点群データで可視化し、クリアランス検討や仮設物の配置計画、BIM／CIMモデルの作成などに活用します。 また、取得した点群データを基に「ガウシアンブラッキング」技術を活用し、写真のようにリアルな3次元空間をデジタル上に再現します。高精度な3次元計測技術と「ガウシアンブラッキング」を組み合わせること で、よりリアルな現場状況の共有や遠隔での確認を可能にします。計測からデータ活用、BIM／CIMモデル作成まで、一気通貫で建設現場の課題解決を支援します。	ソリトンシステムズ D-76 超遠隔操縦を実現する映像伝送システム 建設現場の省人化やDXを推進する、建機の遠隔操作向け超低遅延映像伝送システムをご紹介します。独自の伝送技術により、離れた場所からでも、まるでキャビンに乗っているようなリアルタイムな操作感を実現。重機の超遠隔操縦において、作業効率の向上と安全確保を両立します。 不安定な回線環境でもレスポンスの速い高画質映像を安定して伝送するため、災害復旧やオペレーター不足解消の切り札としてご活用いただけます。ぜひブースで最新の映像伝送ソリューションをご覧ください！	川田グループ（川田建設、川田工業、川田テクノシステム） D-77 安心して快適な生活環境を技術で支える 私たち川田グループは、鋼製橋梁、PC橋梁、建築鉄骨、一般建築・システム建築、土木建設関連ソフトウェア開発・販売などを主たる事業として展開しております。 本展示会ではグループ各社の製品として、アルミ製常設足場「PERMANENT DECK」、プレキャストPC部材組立式雨水貯留施設「エコマモール」、土砂災害防止工法「ジオステップ工法」、3D設計CAD「V-nasClair（ヴィーナスクレア）」情報共有システム「basepage（ベースページ）」、溶接モニタリングシステム「C-LUM（シーラム）」、塗膜厚管理システム「ぬり助」を展示します。
野原グループ D-78 Matterport—高精細3Dデジタルツイン 「現場に行かずしに、現場に行きたい」Matterportは、現場を高精細3Dデジタルツイン化し、現地調査工数を最大75%削減。遠隔からの現場確認や進捗管理を実現し、移動時間・コストを大幅に低減します。さらに、取得した点群データをBIM／CADと連携することで作図業務を効率化。関係者間で同じ空間情報を共有でき、合意形成やコミュニケーション品質の向上にも貢献します。 当ブースでは専用スキャナPro3カメラ実機展示に加え、建設・土木業界での活用事例をご紹介します。	片新日本技研 D-79 道路の未来は、道路だけではない。 AI、デジタル技術、データ活用——。技術に合わせて、私たちは問い続けます。それは誰のための技術か……。人口減少や地域課題、自然災害への備えなど、社会が大きく変化するなか、これからの道路は「単なる移動のための空間」ではなく、「人流・物流・交流を支える社会基盤」へと姿を変えていきます。 私たちは、道路・橋梁・交通計画で培った知見をもとに、交通インフラの未来を構想し、その実現に挑戦しています。技術の導入を目的とするのではなく、社会に求められる価値を創造している、【我が社の建設DX】をぜひご体感ください。	ゴトウコンクリート D-80 自転車に優しい側溝 「自転車に優しい側溝」は側溝の一部を舗装で覆うことにより、スリット部は残しながら露出幅を90mmに抑え、自転車通行空間の確保と景観性の向上に貢献します。 平成24年11月に国土交通省道路局及び警察庁交通局から発表された『安全で快適な自転車環境創出ガイドライン』の中に側溝、街渠などについて以下の記載があります。 ①エプロン幅が狭く、自転車通行空間を広く確保できるもの②平坦性の高いものへの置き換えや滑り止め加工等を行う③側溝と舗装すりつり等縦断方向の段差等にも留意するものとする④横断勾配については、2％を標準とする 自転車に優しい側溝は同ガイドラインに全て合致する製品です。
山辰組 D-81 刈草・枝葉の焼却処分を効率化！酸素供給型焼却架台モヤッシー 酸素供給型高速焼却架台「モヤッシー」は、専用架台とコンプレッサーによる酸素供給で、堤防維持管理で発生する刈草・枝葉をスピーディーに焼却処分。従来の地面焼却に比べて2倍以上の焼却効率を実現し、煙の発生も抑制します。現場作業の負担軽減、焼却日数の短縮、苦情リスクの低減に加え、維持管理の省力化と経済性向上にも貢献します。 別展示のハイブリッド・サイフォン送水装置は、サイフォン原理と水中ポンプを組み合わせた送水システム。呼び水後は省燃費で送水し、燃料費削減とCO₂排出抑制を実現。水替工で7400万円の縮減実績があります。	東洋スタビ D-82 建設機械転倒防止とSTB-MC工法 建設機械の転倒事故は、一度発生すると第三者をも巻き込む重大事故に繋がることから、大型クレーン等を使用する現場での安全管理の重要性は極めて高いものとなっております。 当社では建設機械設置地盤の支持力不足による転倒を防止するため、BCT試験機を用いた地盤調査、支持地盤の養生のための固化材を用いた表層地盤改良の設計から施工まで一貫したご提案をします。 また、『STB-MC工法』とは飛散防止対策として発塵抑制型固化材と同程度まで粉塵を低減し、周辺環境に配慮した地盤改良工法です。	オプトル D-83 クレーン作業安全支援システム【AIが危険を検知】 【人の目だけでは捉えきれない危険を、AIの目で見守る】株式会社オプトルは、数多くの土木・建設現場で選ばれている「クレーン作業安全支援システム」を展示します！ AIと独自の光学・画像処理技術で作業中の死角や危険をリアルタイム検知。大規模な土木インフラ工事から建築現場まで、様々な高所・旋回作業の安全対策を強力にバックアップします。 さらに、物流倉庫や構内作業の安全を高めるフォークリフト用ステレオカメラや、機器の小型化を実現する次世代光学技術メタレンズも展示。現場の安全向上やリスク低減、最新技術をお探しの方は、ぜひオプトルブースへ！
インフォラボ D-84 プロポーザル支援システム「#Propo」 「#（ハッシュ）Propo」は、大手建設コンサルティング会社とコラボした、プロポーザル支援システムです。テクリスを中心とした案件情報や、資格、実績などの技術者情報をDB化し一元管理し、必要な条件を設定するだけで、担当者の選定や受注戦略につながる情報をすばやく抽出できます。 このほか、コリンズデータを活用した自社実績、技術者管理システムや、webアプリ開発プラットフォームなど、多種多様なDX支援ソリューション、事例を展示します。	ワイビーエム D-85 ボーリング調査の新時代～安全とスマートの新基準～ ボーリング調査の新時代へ。安全とスマートの新基準を提案します。 土木・建設分野でDX化が進む一方、ボーリング調査の現場では長年にわたり従来手法が続いてきました。ワイビーエムは、こうした業界共通の課題を解決するため、新商品「YHC-15-SPT」を開発。安全性の向上、省力化、作業効率の改善を実現し、ボーリング調査現場の新たなスタンダードを目指します。 本展示では、開発の背景や現場課題へのアプローチ、そしてYHC-15-SPTがもたらす具体的な導入メリットをご紹介します。	大林組 D-86 汎用遠隔操縦装置「サロゲート」 サロゲートは、建設機械の操作向けに開発された、後付け可能な汎用遠隔操縦装置です。現場状況に左右されず多種多様な建機を遠隔で操作できるため、災害対応や危険作業など多くの場面で適用可能です。人手不足への対応や多様な人材の活用、現場運営の効率化と省人化対策に貢献します。 今回の展示ではデモ機の操作体験やサロゲートの実物の展示、能登半島や熊本城での災害復旧現場などの実例を紹介します。是非お越しください。
大豊建設 D-87 DXで拓く、未来のまちづくりを支える大豊建設の技術 大豊建設は、「信頼に応える、確かな技術」をスローガンに、持続可能なまちづくりに貢献する先進技術を土木・建築両分野で紹介します。 土木部門では、ニューマチックケーソン工法の自動化施工技術をVRで体験できるほか、長距離遠隔操作やAIを活用した自動掘削技術により施工の省人化・生産性向上を実現する取り組みを展示します。さらにDAPPI工法の特徴や土木学会技術賞を受賞した工事の実績をパネルで紹介します。 建築部門では、木質構造の取り組みやBIM活用事例のパネル紹介に加え、研究開発中のコンクリート架構に木質ユニットを組み込むハイブリッド工法の模型を展示します。未来のまちづくりに役立つ技術を是非ご体感ください。	オクノコトー D-88 万能土質改良機による建設発生土再利用システム 本技術は、そのままでは利用できない建設発生土と、異なる性状を持つ建設発生土を組み合わせ、『万能土質改良機』で攪拌・混合することで、粒度調整や強度改善を行います。これにより、利用用途に応じた品質の盛土材として再利用することが可能です。 この技術は、台風や豪雨災害に伴う河道掘削工事・堤防強化工事、さらには道路の路体・路床盛土工事など、幅広い分野で活用されています。 持続可能な社会の実現に貢献する、環境に優しい土質改良技術です。	八千代エンジニアリング D-89 「TERNO」「オフグリッド型ドローンボート」 【設計者専用AIで業務の効率化】「TERNO」はBoxと連携したAIを活用し設計や照査をサポートするクラウドアプリです。図版管理を自動化し、AIによる差分抽出機能などを活用して修正箇所の特定ができます。これらの機能により、設計技術者の作業時間の大幅な削減に貢献します。 【高度化する遠隔自動巡視技術】商用電源や通信網がないインフラ途絶下でも運用可能な、オフグリッド型ドローンボートを活用した自動巡視技術です。能登半島の地すべり現場で有効性が検証されており、安全かつ定量的な地形把握が可能です。高い運用性と導入の容易さを備え、被災状況監視からダム、河川等の日常巡視まで幅広く対応する実践的なDXモデルです。
レジェンドパイプ工法協会 D-90 レジェンドパイプ工法 レジェンドパイプ工法は、推進工法により地中へ特殊パイプを敷設し、地下水位を効率的に低下させることで液状化を抑制する新しい地盤改良技術です。掘削を最小限に抑え、交通や生活環境への影響を軽減しながら施工できるため、住宅地や狭小地でも適用しやすい点が特長です。能登半島地震を契機に北陸地域で実証実験と本施工が進み、即効性・持続性・コスト性に優れた対策として注目されています。 本展示では、推進工法による施工プロセス、地下水低下の仕組み、実証データ、活用事例を模型・映像で紹介します。	大本組 D-91 ニューマチックケーソン工法による流域治水対策、他 ニューマチックケーソン工法は地下構造物としての信頼性が高く、無人化施工により大深度への適合性が優れた工法です。洪水・浸水の被害を軽減するために、地下空間を利用して地下調節池や地下河川の立坑、浸水対策用の雨水ポンプ所等の建設に採用され、人々の暮らしに安全・安心をもたらす流域治水対策に貢献しています。 山岳トンネルにおいて作業員が目視で行ってきた掘削状況の確認や計測作業について、LiDARで計測した現況と設計面との差分を切羽や床掘面にプロジェクションマッピングで可視化し、安全性の向上や省力化を図ります。 目録を再利用した人工魚礁による魚類等の生息空間や藻場の創出により、脱炭素社会へ貢献しています。	MetaMoJi D-92 建設DXを強力に推進。施工管理アプリ「eYACHO」 eYACHO（イーヤチョウ）で、建設現場の働き方を飛躍的に改革！ 大林組と共同開発した「eYACHO」は、図面も資料もペーパーレスにして、ひとつにつに集約。朝礼、安全衛生会議、安全パトロール、昼夜 引継、図面チェックなど、さまざまな現場業務に活用できる、建設 現場アプリです。 リアルタイムな書き込み共有＋ビデオ通話機能により、現場や事務所など離れた場所でも確実なコミュニケーションが取れるため、無駄な移動時間も削減できます。安全衛生日誌など書類や報告書の作成も簡単に現場で入力でき、事務所への持ち帰り業務を削減します。
ショーボンド建設 D-93 補修工事が導く`次の補修技術、——新製品・新工法のご提案 造らない建設会社 創るのは社会インフラの未来です。 ショーボンド建設は、土木メンテナンスの専門企業として、日本全国の社会インフラの維持管理に取り組んできました。橋梁・道路・トンネルなど多様な構造物に向き合い、現場で培った知見を基盤に、200種類以上の製品・工法を開発・展開しています。新設ではなく既存インフラを守り抜くという揺るぎない使命のもと、確かな技術で社会の安心を支え続けています。	TDK D-94 無線式高精度傾斜計測システム 見えない動きを、遠隔で捉える。TDKの無線式高精度傾斜計と無線変換ユニットが、建築・土木現場の計測を革新します。3軸MEMS加速度センサーと独自のデータ処理技術により高精度な計測を実現し、構造物や地盤のわずかな変化も把握できます。920MHz帯特定小電力無線を採用し、Wi-FiやBluetoothと干渉せず長距離通信が可能です。 配線工事不要で設置負荷を軽減し、取得データはクラウドやサーバーへ集約。遠隔監視やリアルタイムの一元管理を支援し、計測業務の効率化、DX推進、省人化に貢献します。モニタリング機能により現場の安全性向上にも寄与するソリューションです。	マルケングループ（丸建リース、マルケンテックジャパン、竹本基礎工事） D-95 「タフのチカラ」で地下空間施工の脱炭素化に貢献します!! ■マルケンタフデッキ 長尺覆工板（4・5m）で広い開口部を確保し、作業効率向上に貢献！■マルケンタフ工法 タフ4・タフ7のハイブリッド工法で切戻スパンを拡大し、広い地下作業空間を実現！■マルケンテックジャパン施工の圧入式パイプロ併用杭打機（JPM）410kNの圧入力と高周波パイプロで、無排土・安全・迅速・環境配慮施工を実現！ ■竹本基礎工事の工法紹介 地中障害物撤去に対応するスーパートップ工法と環境負荷の低減と経済性を両立したエコパイル工法■高強度棧橋桁（タフ1）最大15mスパン対応の組立型棧橋桁。■切梁差差部フラット材 支保工下空間を有効活用し、施工性向上に貢献！ ぜひ当社ブースへお立ち寄りください。
ニュージェック D-96 IRIワイヤレス路面測定装置「ACTUS Plus」 ACTUS PlusはCLAS対応GNSSを採用し高精度測位の実現を図り、各種センサー類を一般車両に設置して走行、無線により路面性状データを取得することができるIRI簡易計測システム。高頻度のデータの取得、経済性、施工性の向上、工期短縮が期待できる。 ●加速度センサーを車両のサスペンション上下に取り付け、センサーから本体間のデータ送信は無線により送信●GNSSおよび車速パルスから正確な位置情報を取得●路面データと位置情報データを結合し、パソコン上でリアルタイムモニタリングが可能●CLAS対応GNSS採用により、高精度測位を実現。「点検支援技術性能力カタログ」に掲載された。	エクシオテック D-97 工事用EV・クレーン作業の見える化ソリューション エクシオテックは、建設現場の「安全」と「効率」をテーマに、現場DXを支援するソリューションを展示します。 工事用エレベータの運行状況をリアルタイムに見える化する「エレベータインジケータシステム」と、クレーン作業時の安全確認を支援する「クレーン用テレビカメラシステム」をご紹介します。建設現場の安全性向上や効率化、労働環境改善などの課題解決に貢献する製品を、実機でご体感いただけます。	復建調査設計 D-98 次世代型GXモニタリング技術 我々は、GX社会の実現に重要となるCO₂吸収源対策の実装を支援する新技術の開発に取り組んでいます。近年、炭酸カルシウムを多く含有した土木資材によるCO₂固定化技術の開発が進んでいます。 本技術展では、土木資材へのCO₂吸収状況をリアルタイムで計測し、吸収ポテンシャルや吸収速度を定量化できるCO₂固定化試験装置を展示します。また国内で重要なCO₂吸収源となるブルーカーボン生態系の調査に特化した海洋ドローンや、湾内の潮流を準リアルタイムで計測可能な音響トモグラフィー等の新技術も紹介します。
エコ・パワーネット工法会 D-99 コンクリート構造物を用いない斜面对策工 コンクリート構造物を用いず、高強度素線で編んだ高強度ネット（TECCOネット）と補強材（ロックボルト）を組み合わせた柔構造物を特長とし、表層崩壊や補強材間の中抜けに対して有効な技術です。 また、施工が簡易であり、仮設備も狭陰箇所でも対応が可能なので、既設モルタル面の補修・補強や事前防災や緊急対策時に特化した斜面・のり面崩壊対策工です。	MIEZ D-100 ダンプトラック運行管理AIクラウド「カタル」 株式会社MIEZが提供するカタルは、AIを活用したダンプトラックの運行管理に特化したクラウドシステムです。建設DXにおける空白地帯であった運搬工程をデジタル化し、現場の負担を大幅に軽減します。主な機能として、免許証や車検証などの4点セットをAI-OCRで即座にデータ化し、書類管理や帳票作成を自動化します。 また、GPSによるリアルタイムの位置情報管理により、配車の最適化や安全管理を強化し、近隣トラブルの防止にも寄与します。導入により事務作業を約67%削減した事例もあり、ICT施工StageIIの実現を支援するソリューションです。	国土交通省 関東地方整備局 D-101 関東地方整備局の現場の取り組みを発信！ 利根川ダム統合管理事務所／鬼怒川ダム統合管理事務所／相模川水系広域ダム管理事務所／品木ダム水質管理所／二瀬ダム管理所／関東道路メンテナンスセンター／関東技術事務所 ダム管理5事務所による最近の取組やダムの魅力発信、関東道路メンテナンスセンターによる自治体支援の取組や道路管理DXにおける新技術の紹介を行います。 また、関東技術事務所より建設技術展示館の出張展示として、マインクラフトを活用した橋梁補修・堤防補修の体験ゲームやタブレットを用いたLiDAR体験を行います。